

士幌町まちづくりアンケート
調査結果報告書
(概要版)

も く じ

I 調査の概要

II 回答者の属性..... 1

- (ア)性別
- (イ)年代
- (ウ)職業
- (エ)世帯構成
- (オ)居住歴

III 設問別調査結果

1 暮らしの満足度・重要度	3
1-1 まちづくりで特に重要なこと	6
2 住みよさ	8
3 定住意向	9
4 産業の振興	16
5 少子高齢化や子育て支援	18
6 老後の不安	19
7 手伝ってほしいこと&手伝えること	21
8 買い物困難者への対策	22
9 自然災害に対して、自身で行っているもの	23
10 ほしいまちづくりや地域の情報	26
11 まちづくりや町民参加への意識	26
12 町の施設の改修、利活用について	27
13 定住、移住を促進するための提案やアイデア	28
14 まちづくりへの提案やアイデア	34

I 調査の概要

この調査は、平成28年度から令和7年度までのまちづくり計画「土幌町第6期まちづくり総合計画」の中間見直しを行うにあたり、土幌町での暮らしに関する意識、今後のまちづくりへの意向、まちづくりに関する意見や提案など把握するために実施しました。

調査の実施概要については、次のとおりです。

対 象	16歳以上の町民2,000人 (年代ごとに無作為抽出)
配布・回収の方法	郵送にて配布 郵送および「回収ボックス」にて回収
調査期間	令和元年12月
回収数	657票(回収率32.9%)

報告書の集計・表記方法についての留意点は、次のとおりです。

- 比較や順位付けは、回答数ではなく「回答率」や「加重平均値」で行っています。そのため、「多い・少ない」ではなく、「高い・低い」と表記しています。
- 集計は属性ごとに行っていますが、この報告書では「全体数」「性別」「年代別」を中心に説明しています。
- 属性別の説明文は、他の属性と比べて差がめだつものを記載しています。
- 集計結果は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを百分率(%)で表示しています。そのため、選択肢から1つだけ選択する設問では、%を合計しても100.0%にならないことがあります。
- 「性別」「年代別」など属性別の結果は、属性が分からなかった(無回答)部分を除いて表示しているため、属性の合計は全回答者数(657人)にはなりません。
- 実際に用いた調査票の言葉が長い選択肢については、グラフや文章で示す際、文章を短縮しているものがあります。
- その他に記載のあった内容については、同じ内容のものについてはまとめ、回答数を()で示しています。
- 自由記載については、記述事項を一部整理・要約して掲載しています。
- 一部で比較している「前回のアンケート」とは、平成27年に実施した同様のアンケートです(16歳以上の町民2,000人を対象、874票回収)。

調査の企画・編集：土幌町 総務課企画グループ

結果の集計・分析：株式会社 日本コンサルタントグループ

属性別の回収内訳

全体の回収数		657	
性別	男性	276	42.0%
	女性	355	54.0%
	性別が「無回答」	26	4.0%
年代	10・20代	72	11.0%
	30代	113	17.2%
	40代	114	17.4%
	50代	123	18.7%
	60代	133	20.2%
	70代以上	87	13.2%
	年代が「無回答」	15	2.3%
職業	農林水産業	127	19.3%
	製造業、建設業	40	6.1%
	商業、金融・サービス業など	60	9.1%
	福祉・医療関係	35	5.3%
	公務員、団体職員など	114	17.4%
	上記以外の職業	77	11.7%
	家事専業、学生	84	12.8%
	無職、退職された方	106	16.1%
	職業が「無回答」	14	2.1%
家族構成	三世代親・子・孫等以上	65	9.9%
	二世代親・子	231	35.2%
	夫婦	204	31.1%
	一人暮らし（単身赴任も含む）	127	19.3%
	その他	15	2.3%
	家族構成が「無回答」	15	2.3%
居住歴	士幌町で生まれ、ずっと士幌町に住んでいる	137	20.9%
	士幌町で生まれ、一度町外で暮らして、再び士幌町に住んでいる	138	21.0%
	士幌町以外の場所で生まれ、士幌町に引っ越してきた	369	56.2
	居住歴が「無回答」	13	2.0%

Ⅲ 設問別調査結果

1 暮らしの満足度・重要度

【問1】土幌町での暮らしについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」を評価してください。
具体的な内容は示していませんが、全般としての評価をお願いします。

<満足度について>

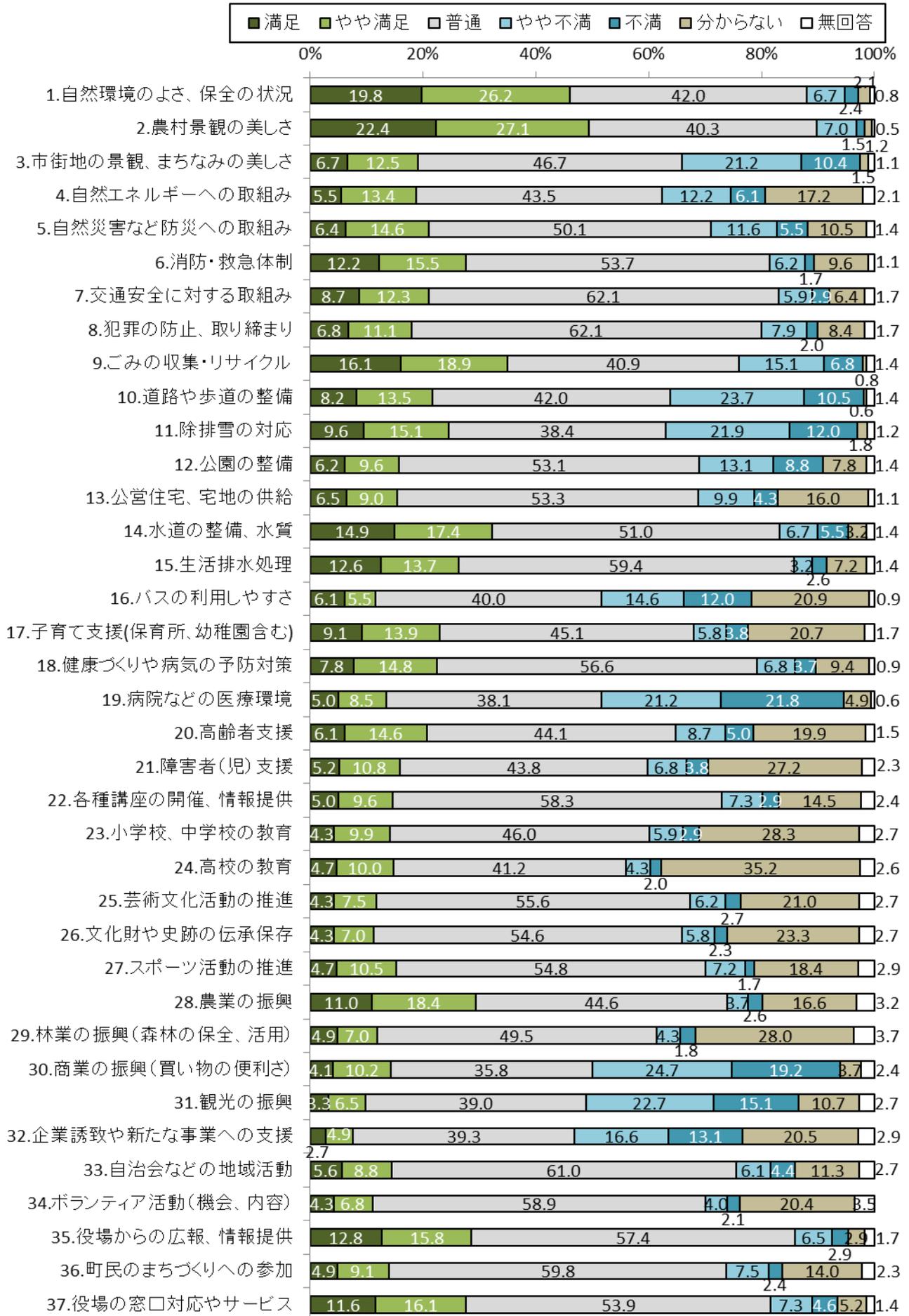
- 「満足」が最も高いのは「2.農村景観の美しさ」(22.4%)で、「1.自然環境のよさ、保全の状況」(19.8%)、「9.ごみの収集・リサイクル」(16.1%)、「14.水道の整備、水質」(14.9%)、「35.役場からの広報、情報提供」(12.8%)、「15.生活排水処理」(12.6%)、「6.消防・救急体制」(12.2%)、「37.役場の窓口対応やサービス」(11.6%)、「28.農業の振興」(11.0%)と続きます。この9項目では「満足」が1割以上を占めます。

- 「不満」が最も高いのは「19.病院などの医療環境」(21.8%)で、「30.商業の振興(買い物の便利さ)」(19.2%)と続きます。以下、「31.観光の振興」(15.1%)、「32.企業誘致や新たな事業への支援」(13.1%)、「11.除排雪の対応」と「16.バスの利用しやすさ」(同率で12.0%)、「10.道路や歩道の整備」(10.5%)「3.市街地の景観、まちなみの美しさ」(10.4%)と続きます。この8項目では「不満」が1割以上を占めます。

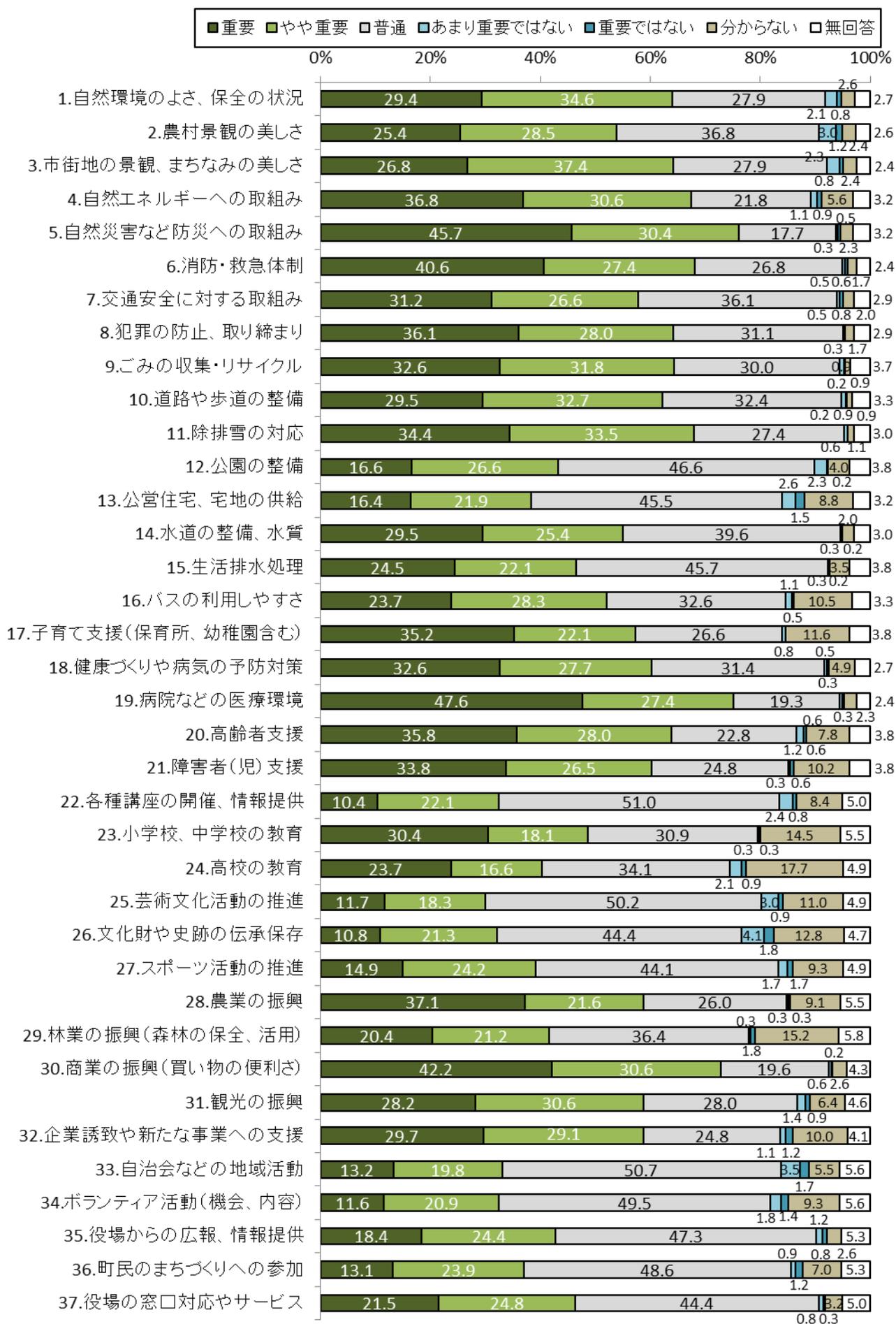
<重要度について>

- 「重要」が最も高いのは「19.病院などの医療環境」(47.6%)で、「5.自然災害など防災への取組み」(45.7%)、「30.商業の振興(買い物の便利さ)」(42.2%)、「6.消防・救急体制」(40.6%)と続きます。この4項目では「重要」が4割以上を占めます。

【問1】暮らしの満足度について[657]



【問1】暮らしの重要度について[657]

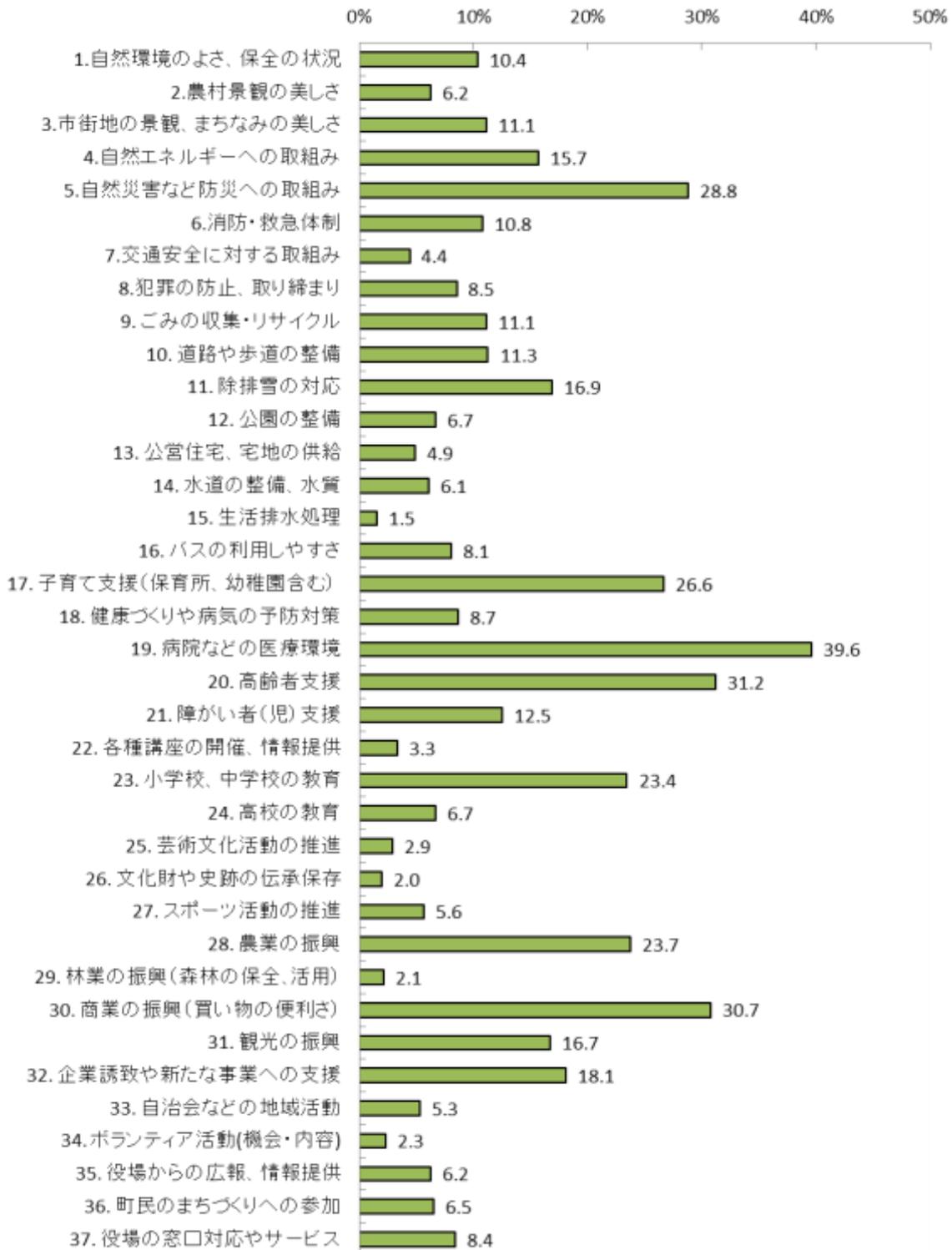


1-1 まちづくりで特に重要なこと

【問1-1】問1の37項目の中で、今後のまちづくりで特に重要と思うものを5つまで選んで、下の枠に番号をお書きください。

- 「19.病院などの医療環境」(39.6%)が最も高く、「20.高齢者支援」(31.2%)、「30.商業の振興(買い物の便利さ)」(30.7%)、「5.自然災害など防災への取組み(28.8%)」、「17.子育て支援(保育所、幼稚園含む)」(26.6%)と続きます。

【問1】特に重要と思うもの(5つまで選択)[657]



○性別でみると、男女とも「19.病院などの医療環境」です。2位は、男性は「28.農業の振興」、女性は「20.高齢者支援」です。

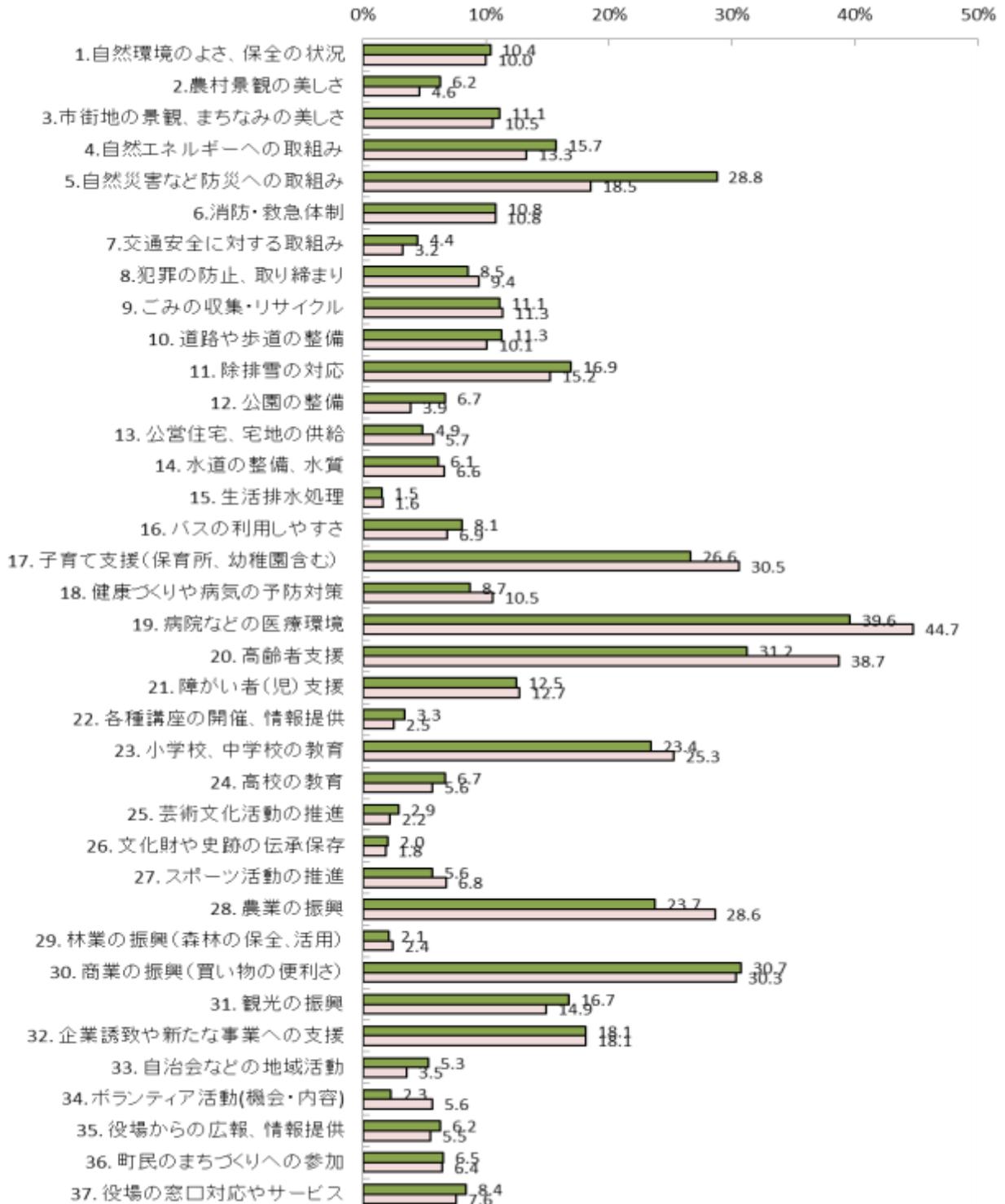
○「28.農業の振興」は男性、「19.病院などの医療環境」「20.高齢者支援」は女性の回答率がそれぞれ高く、差がめだちます。

<前回との比較>

○今回も前回と同様に、最も高いのは「19.病院などの医療環境」で、次に高いのは「20.高齢者支援」ですが、いずれも、前回の方が高いです。

○「5.自然災害など防災への取組み」は今回の回答率が前回よりも高く、差がめだちます。

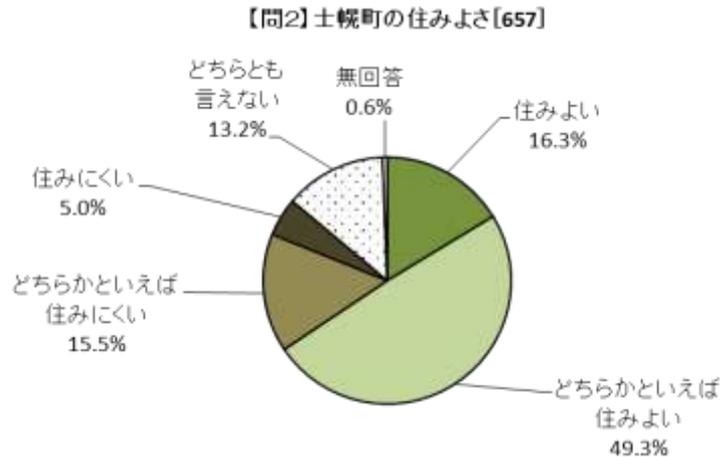
【問1】特に重要と思うもの(前回との比較)(5つまで選択)



2 住みよさ

【問2】総合的に考えて、土幌町の住みよさはいかがですか。（1つだけ選択）

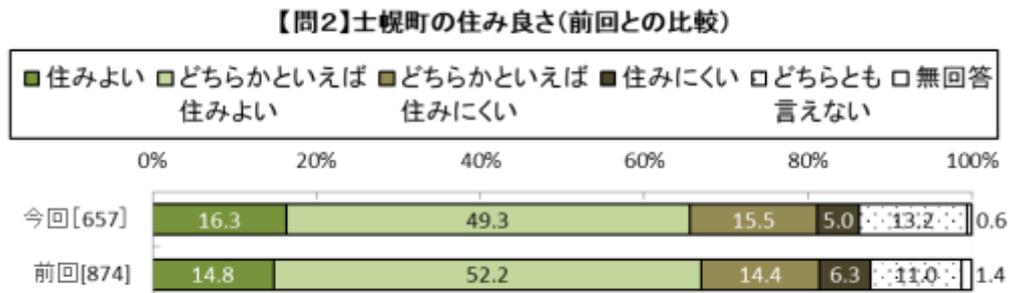
- 「どちらかといえば住みよい」が 49.3%と約半数を占め、「住みよい」（16.3%）が続きます。この2つを合計すると 65.6%で、程度の差はありますが約3分の2は“住みよい”と感じています。
- 一方、「どちらかといえば住みにくい」は 15.5%で、「住みにくい」（5.0%）と合わせると“住みにくい”は約2割です。



- 年代別で見ると、10代・20代、40代、70代以上は「住みよい」が2割前後を占めます。「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計は10代・20代が最も高く約8割を占めます。一方、30代は「どちらかといえば住みにくい」が約2割以上を占め、60代や70代以上では「どちらとも言えない」が2割近くを占めます。
- 職業別で見ると、農林水産業と家事専業、学生は「住みよい」が2割以上を占めます。
- 居住歴別で見ると、ずっと土幌町の回答者は「住みよい」が4分の1以上を占めます。

<前回との比較>

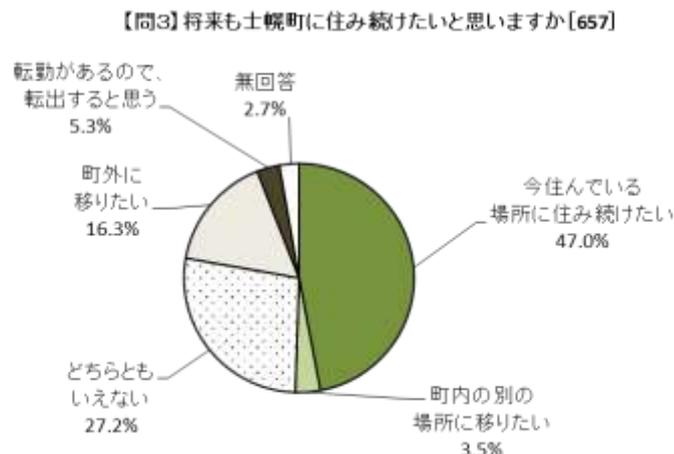
- 前回に比べて「住みよい」はやや高いですが、「どちらかといえば住みよい」との合計は、僅かですが低いです。



3 定住意向

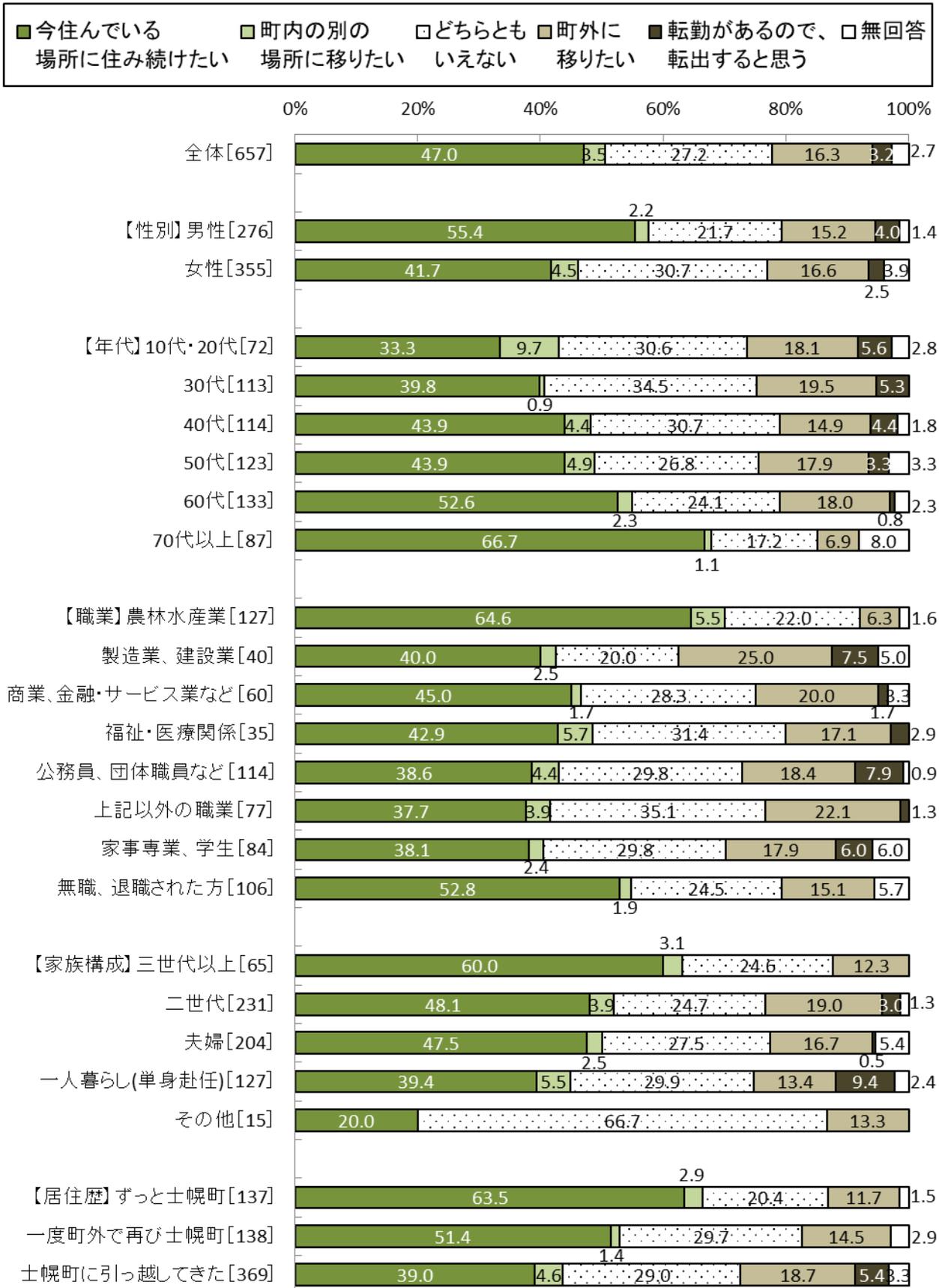
【問3】 将来も土幌町に住み続けたいと思いますか。(1つだけ選択)

- 「今住んでいる場所に住み続けたい」が47.0%と最も高く、「どちらともいえない」(27.2%)が続きます。以下、「町外に移りたい」(16.3%)、「転勤があるので、転出すると思う」(5.3%)、「町内の別の場所に移りたい」(3.5%)の順です。
- 「今住んでいる場所に住み続けたい」と「町内の別の場所に移りたい」を合わせると50.5%で、土幌町内に“住み続けたい”割合は約半数です。



- 性別で見ると、「今住んでいる場所に住み続けたい」は男性で過半数を占めます。「どちらともいえない」は女性で約3割を占めます。
- 年代別で見ると、「今住んでいる場所に住み続けたい」年代が高まるにつれて高くなります(40代と50代は同率)。10代・20代は「町内の別の場所に移りたい」が約1割を占めます。
- 職業別で見ると、「今住んでいる場所に住み続けたい」は農林水産業と無職、退職された方で過半数を占めます。一方、「町外に移りたい」は製造業、建設業で4分の1、商業、金融・サービス業などと上記以外の職業で2割以上を占めます。
- 家族構成別で見ると、三世代以上と夫婦は「今住んでいる場所に住み続けたい」が6割以上を占めます。
- 居住歴別で見ると、ずっと土幌町の回答者と一度町外で再び土幌町の回答者は「今住んでいる場所に住み続けたい」が過半数を占めます。

【問3】将来も土幌町に住み続けたいか(属性別)

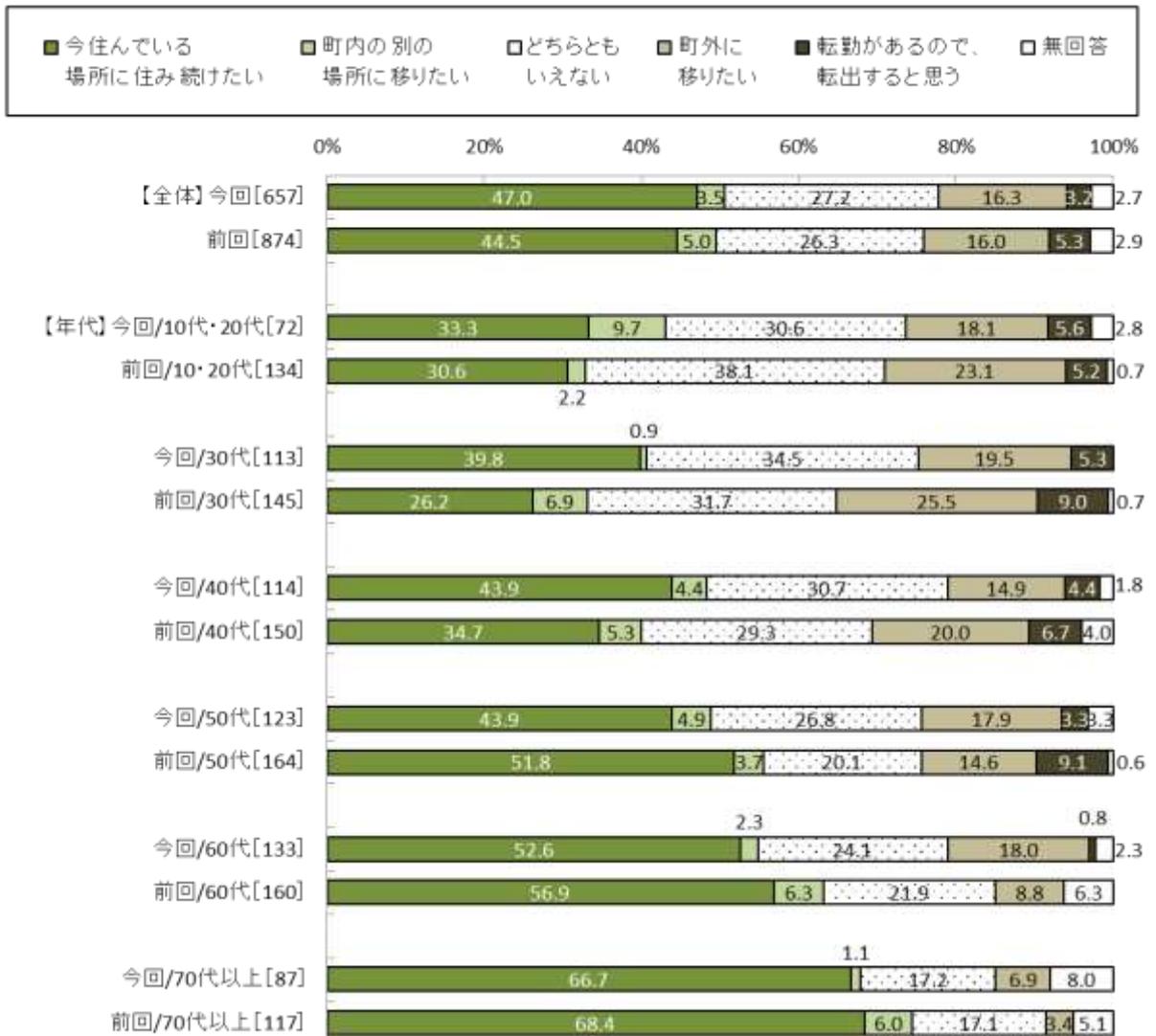


<前回との比較>

○「今住んでいる場所に住み続けたい」は今回の方が高いです。

●年代別でみると、「今住んでいる場所に住み続けたい」は、50代以上の年代では前回よりも低くなっていますが、10代・20代から40代までの若い世代では、前回よりも高くなっています。

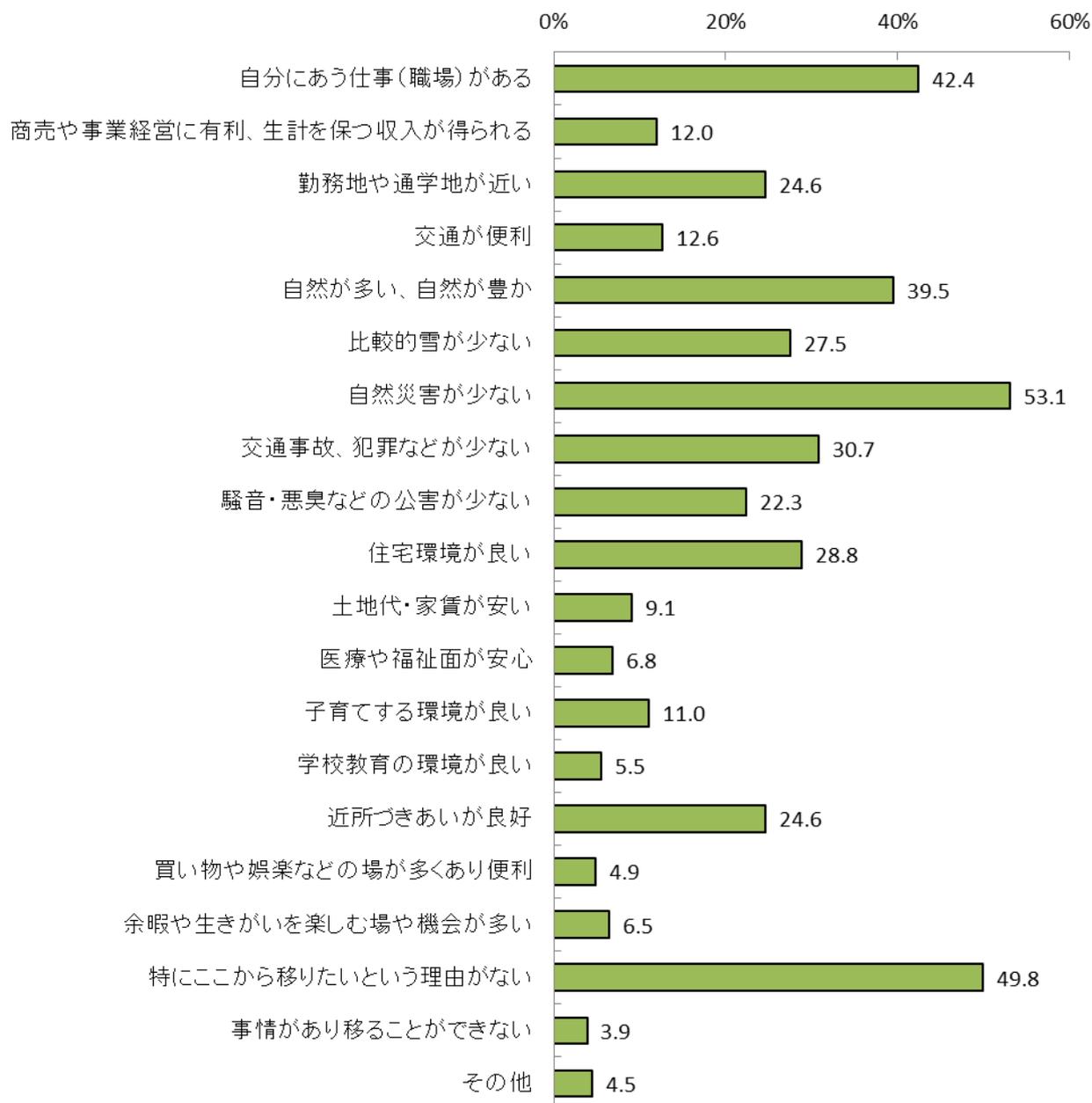
【問3】将来も土幌町に住み続けたいか(年代別、前回との比較)



【問3-1】問3で「1.今住んでいる場所に住み続けたい」を選んだ方にお尋ねします。その理由を選んでください。(あてはまるものすべて選択)

- 「自然災害が少ない」(53.1%)が最も高く、「特にここから移りたいという理由がない」(49.8%)、「自分にあう仕事(職場)がある」(42.4%)、「自然が多い、自然が豊か」(39.5%)と続きます。

【問3-1】町内に住み続けたい理由(あてはまるものすべて選択)[309]



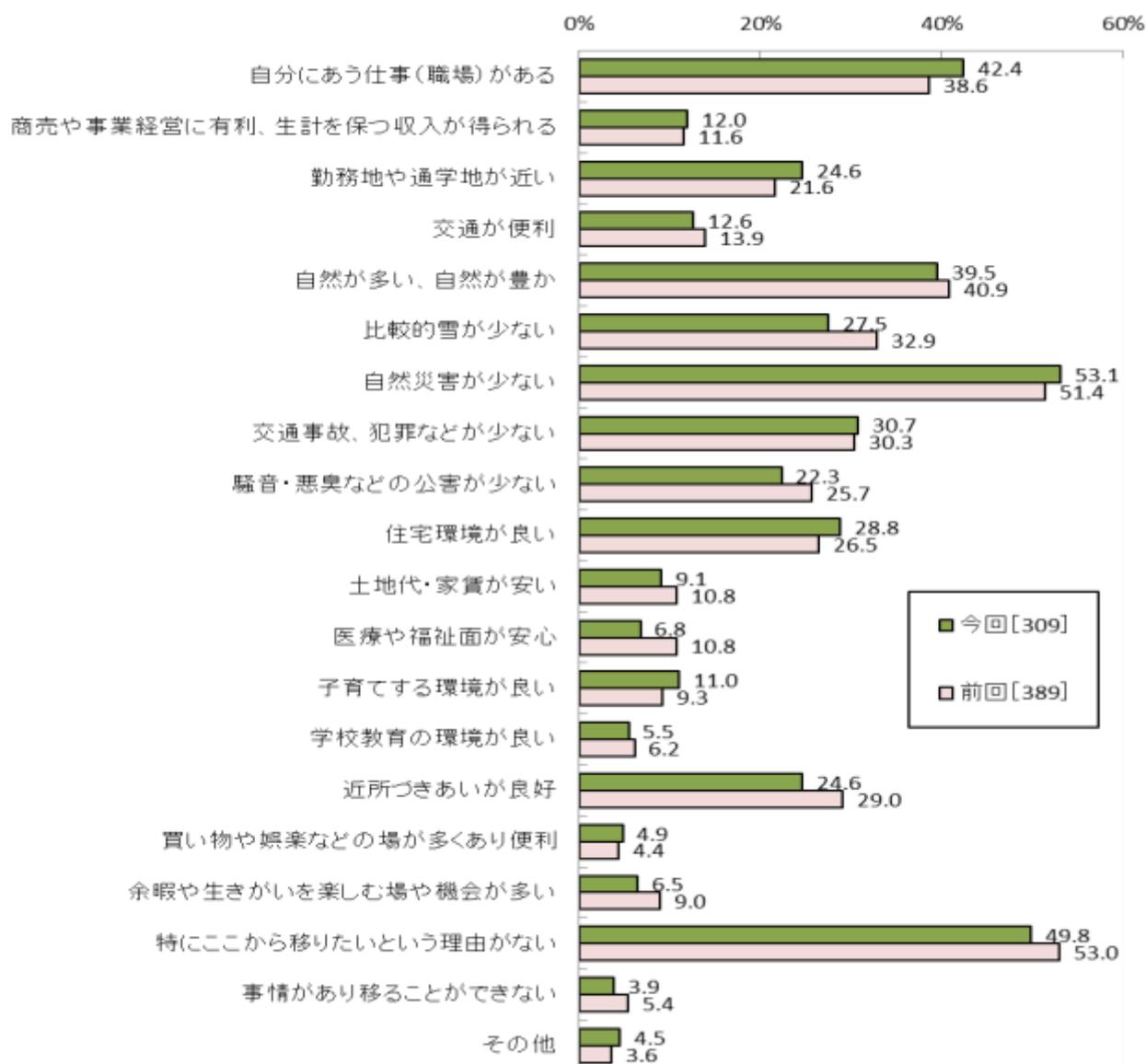
※「その他」の内容：持ち家があるため(5) 農業なので/農地があるので(4) 生まれた土地だから 先祖代々住んでるから 長年住んでいるので今の環境に慣れている 親族が町内にいるから 高齢で無職で町営住宅に入っているの
 土幌が好き。ずっとここにいるから 田舎で近所づきあいが面倒かと思ったが放っておいてくれる

- 性別で見ると、男性は「自分にあう仕事（職場）がある」と「自然災害が少ない」（同率）、女性は「自然災害が少ない」がそれぞれ最も高いです。
- 「自分にあう仕事（職場）がある」は男性、「住宅環境が良い」は女性の回答率が高く、差がめだちます。
- 年代別で1位をみると、10代・20代と40代は「自分にあう仕事（職場）がある」、30代は「自分にあう仕事（職場）がある」と「特にここから移りたいという理由がない」（同率）、50代以上の世代は「自然災害が少ない」です。
- 「自然災害が少ない」は年代が高くなるにつれて回答率が高くなっています。
- 「通勤地や通学地が近い」は40代以下、「近所づきあいが良好」は70代以上で高く差がめだちます。

<前回との比較>

○前回は「特にここから移りたいという理由がない」、今回は「自然災害が少ない」がそれぞれ最も高いですが、全体的に、回答傾向に大きな差はみられません。

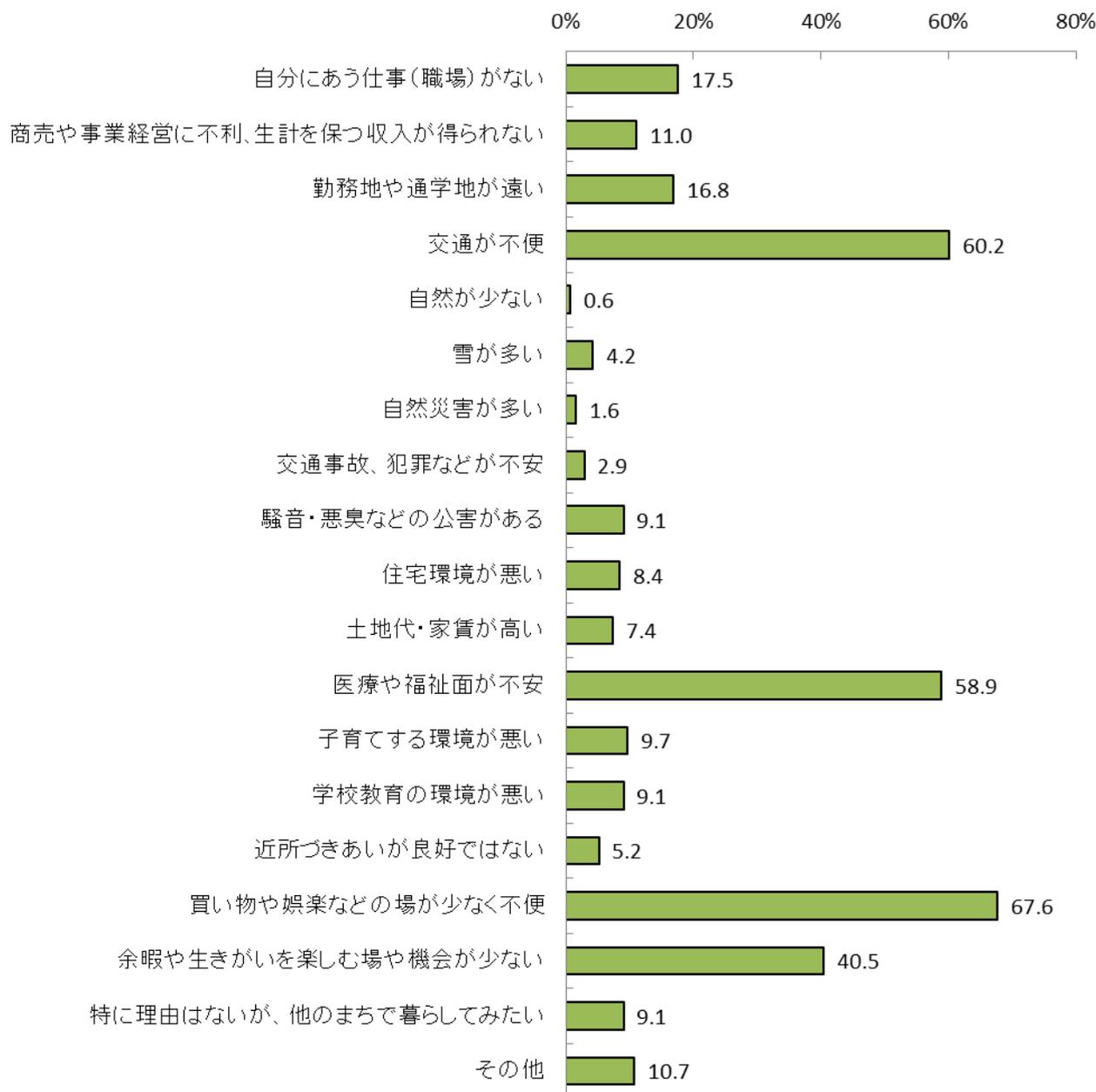
【問3-1】町内に住み続けたい理由(前回との比較)(あてはまるものすべて選択)



【問3-2】問3で「2. 町内の別の場所に移りたい」「3. どちらともいえない」「4. 町外に移りたい」を選んだ方にお尋ねします。その理由を選んでください。(あてはまるものすべて選択)

- 「買い物や娯楽などの場が少なく不便」(67.6%)が最も高く、「交通が不便」(60.2%)、「医療や福祉面が不安」(58.9%)、「余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ない」(40.5%)と続きます。この4項目が特に高いです。

【問3-1】町外に移りたい理由(あてはまるものすべて選択)[309]



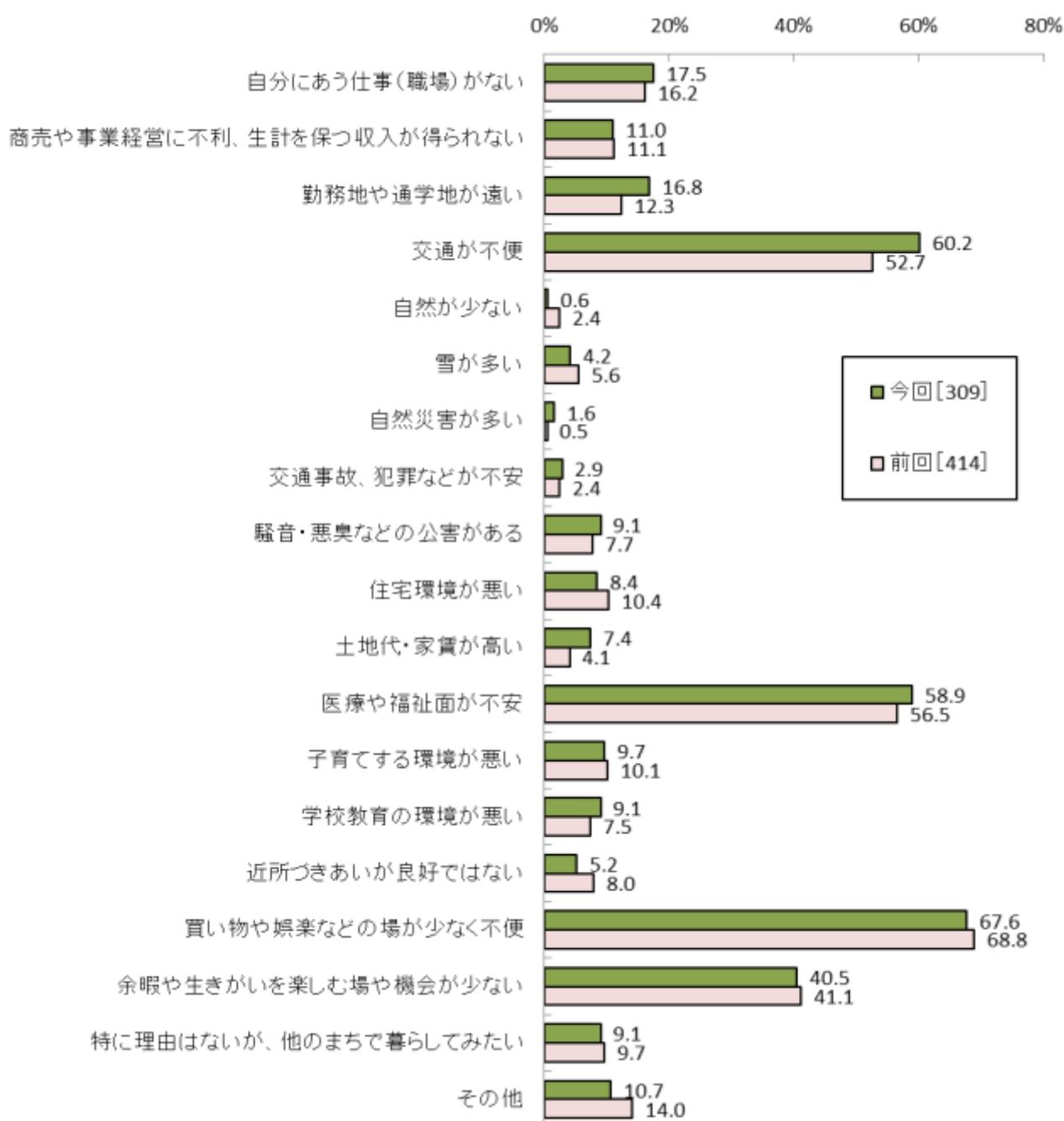
※「その他」の内容：子供の住んでいる所に移る(3) 両親が町外/町外の親の面倒をみる(3) 親しい友人や親族が町外にいる 病院が信用できない(2) 健康上の都合 地元ではないので、生まれ育った場所に戻る予定 インターネットの“光”がきてない マイホームに住みたい 習い事が少ない、遠い 一人暮らしになった時 子どもが出ていけば部屋が多いので夫婦で別にも思っています 子育て世帯の賃貸がない 社会資源が少ない 税金が高い

- 性別で見ると、特に高い4項目は男女とも同じですが、「余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ない」は男性、その他の3項目は女性の方が高いです。
- 「交通が不便」は女性の回答率が特に高く、男女の差がめだちます。
- 年代別で1位をみると、10代・20代と30代、50代は「買い物や娯楽などの場が少なく不便」、40代と70代以上は「医療や福祉面が不安」、60代は「交通が不便」です。
- 「自分にあう仕事（職場）がない」と「買い物や娯楽などの場が少なく不便」は、年代が低いほど回答率が高いです。

<前回との比較>

○特に高い4項目は前回と同様で、「交通が不便」が前回よりも低くなっており、差がめだちます。そのほか、全体的に回答傾向に大きな差はみられません。

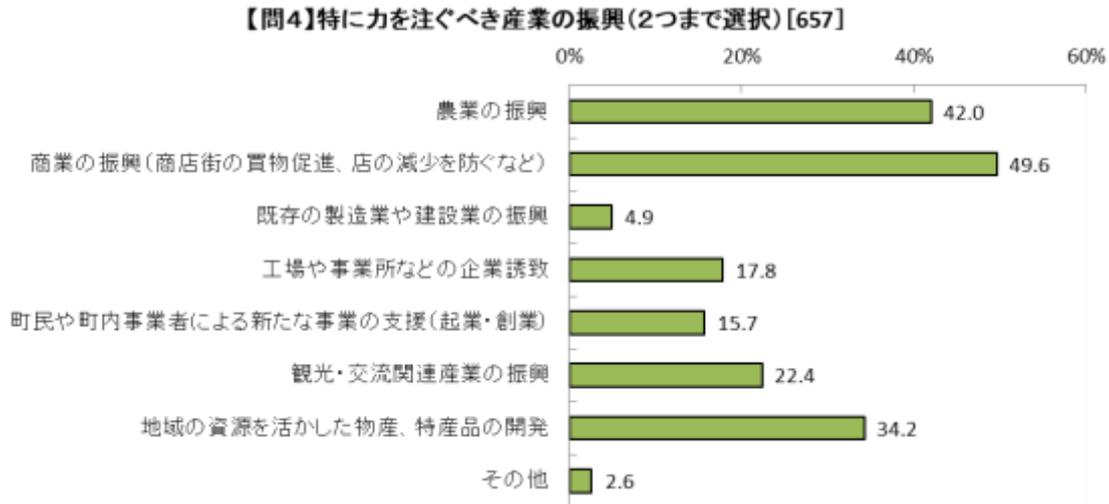
【問3-2】町外に移りたい理由(前回との比較)(あてはまるものすべて選択)



4 産業の振興

【問4】土幌町の産業振興として、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。（2つまで選択）

○「商業の振興」（49.6%）が最も高く、「農業の振興」（42.0%）が続きます。



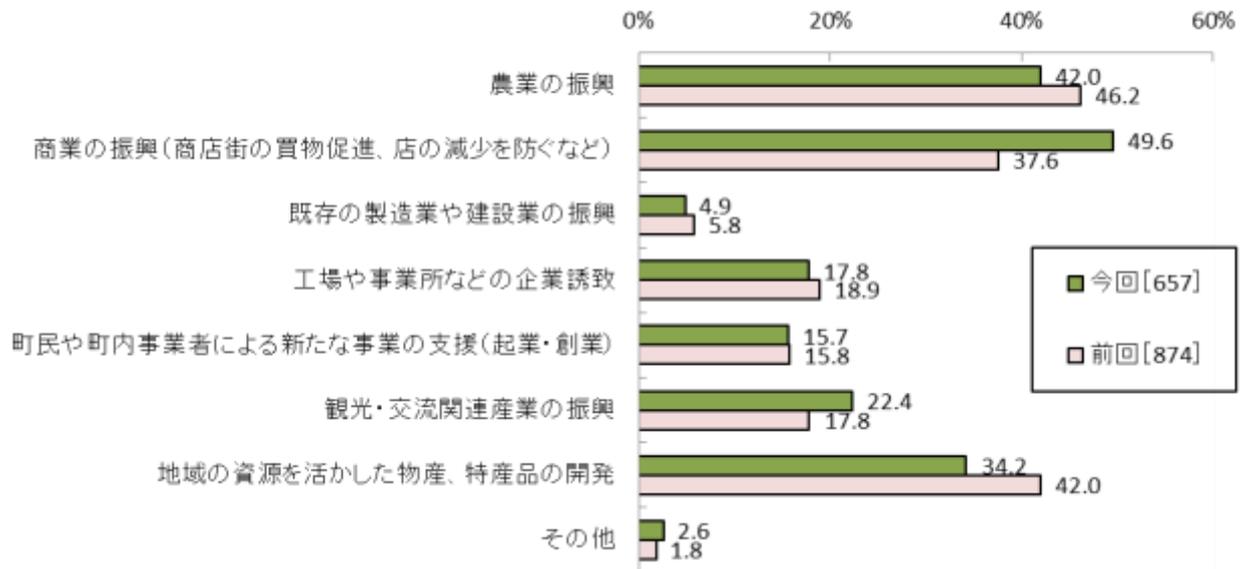
※「その他」の内容：フランチャイズの誘致 地元外の店舗誘致 農業自営、J A、役場もっと協力体制を 文化財となり得るものの保護がのちの観光につながる お金をなるべく使わず、アイデアを求める（経費はできるだけかけないこと） バイオガスプラントの消化液の利用・処理の適正化の調査～環境負荷を増加させない 町内の良さを見つける 町民が働きたいという職場環境が良い職場 大樹町の宇宙政策のように特化したものが必要。トップがビジョンを示すべき 本問題自体を町民が検討することに限界があると思うので、外部から専門家や有識者を迎えて考えるべき

- 性別で見ると、男性は「農業の振興」、女性は「商業の振興」が最も高いです。
- 年代別で1位をみると、50代のみ「農業の振興」で、それ以外の年代は「商業の振興」です。
- 「工場や事業所などの企業誘致」は年代が高いほど、「観光・交流関連産業の振興」は年代が低いほど、それぞれ回答率が高くなる傾向にあります。
- 職業別で1位をみると、農林水産業と公務員、団体職員などは「農業の振興」、それ以外では「商業の振興」です。
- 「農業の振興」は農林水産業、「既存の製造業や建設業の振興」は製造業、建設業、「地域の資源を活かした物産、特産品の開発」は家事専業、学生で高く、それぞれ、他との差がめだちます。

<前回との比較>

○前は「農業の振興」が最も高かったですが、今回は「商業の振興」が最も高く、前回と比べても回答率が高く、差がめだちます。前回第2位であった「地域の資源を活かした物産、特産品の開発」は、前回に比べると低くなり、差がめだちます。

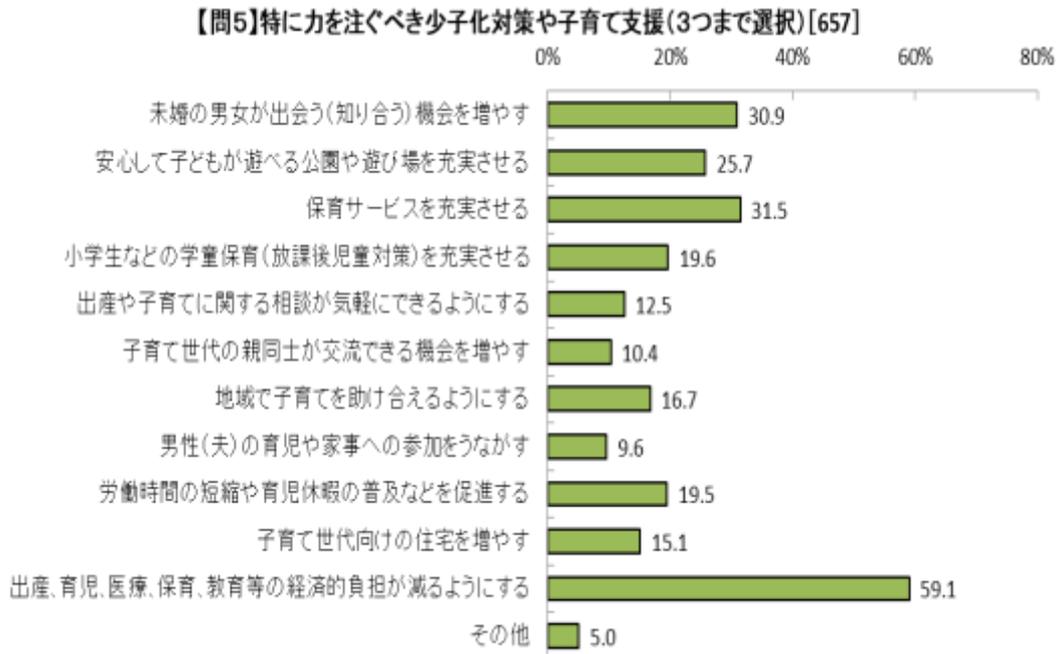
【問4】特に力を注ぐべき産業の振興(2つまで選択)



5 少子高齢化や子育て支援

【問5】少子化対策や子育て支援として、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。（3つまで選択）

- 「出産、育児、医療、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」（59.1%）が最も高く、間をあけて「保育サービスを充実させる」（31.5%）、「未婚の男女が出会う（知り合う）機会を増やす」（30.9%）がほぼ同率で続きます。



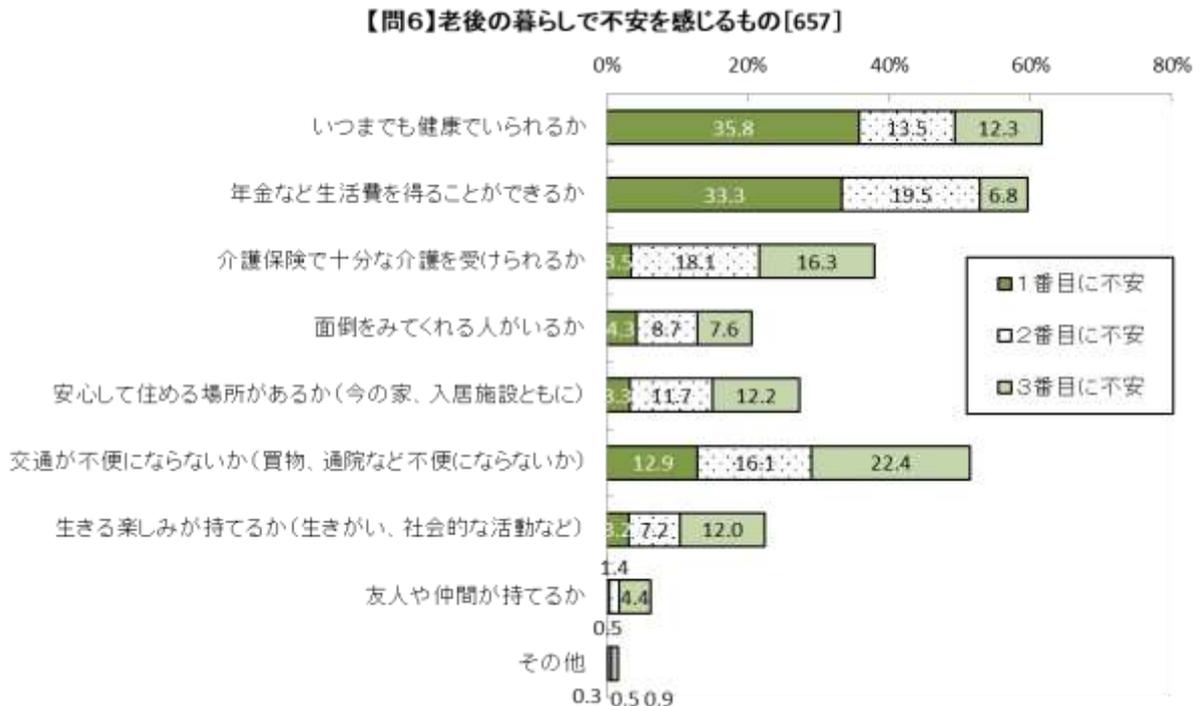
※「その他」の内容：十分な収入の確保 働く場所、賃金が得られること 小学生以上の経済負担を減らしてほしい 高校卒業まで経済的負担が減るように 若い世代の働く場所を増やす 若年層の給与水準を他より上げる 子供達の将来の雇用の場の確保（農協役場以外） 健診等でスクリーニング後地元でフォローする体制の強化、専門性の向上。たらいまわしをやめる 小児科を入れてほしい。わざわざ音更、帯広まで行かなくてはいけなくて不便

- 性別で見ると、男女とも「出産、育児、医療、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」が最も高いです。「未婚の男女が出会う機会を増やす」「子育て世代向けの住宅を増やす」などは男性、「小学生などの学童保育（放課後児童対策）を充実させる」「労働時間の短縮や育児休暇の普及などを促進する」などは女性の回答率が高く、差がめだちます。
- 年代別で見ると、いずれの年代も「出産、育児、医療、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」が最も高く、特に30代、40代で高いです。
- 「未婚の男女が出会う機会を増やす」は年代が高いほど、「保育サービスを充実させる」「子育て世代向けの住宅を増やす」は年代が低いほど、回答率が高くなる傾向にあります。

6 老後の不安

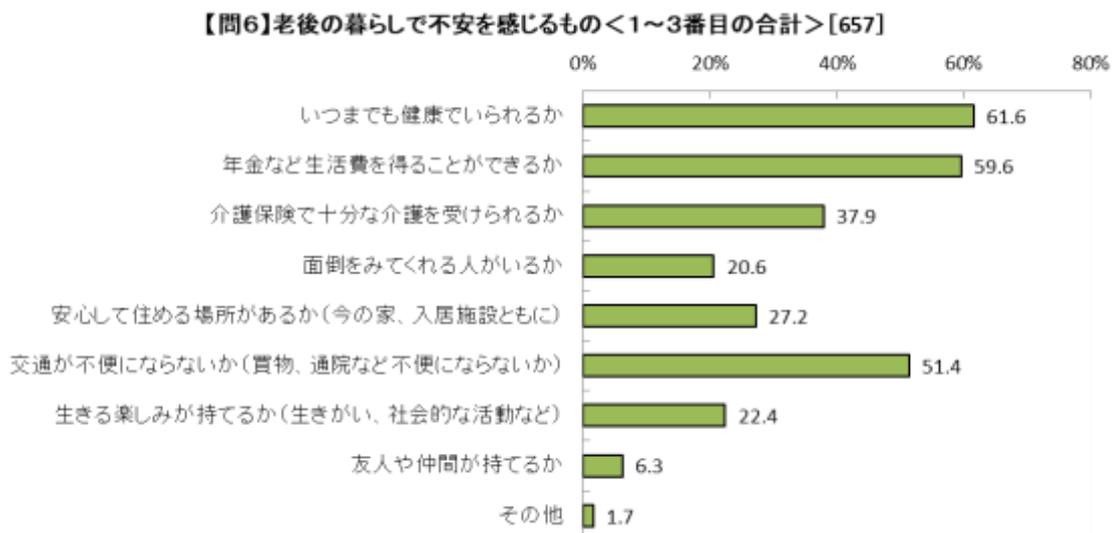
【問9】老後の暮らしを考えた時、不安を感じることはどのようなことですか。（不安の強い順に3つまで選択）

- 1番目に不安で最も高いのは「いつまでも健康でいられるか」（35.8%）で、「年金など生活費を得ることができるか」（33.3%）が僅差で続き、「交通が不便にならないか」（12.9%）の順番となっています。



<1番目から3番目までの合計での比較>

- 1番目から3番目までの合計でも「いつまでも健康でいられるか」（61.6%）が最も高く、「年金など生活費を得ることができるか」（59.6%）が僅差で続き、「交通が不便にならないか」（51.4%）という順番になっています。



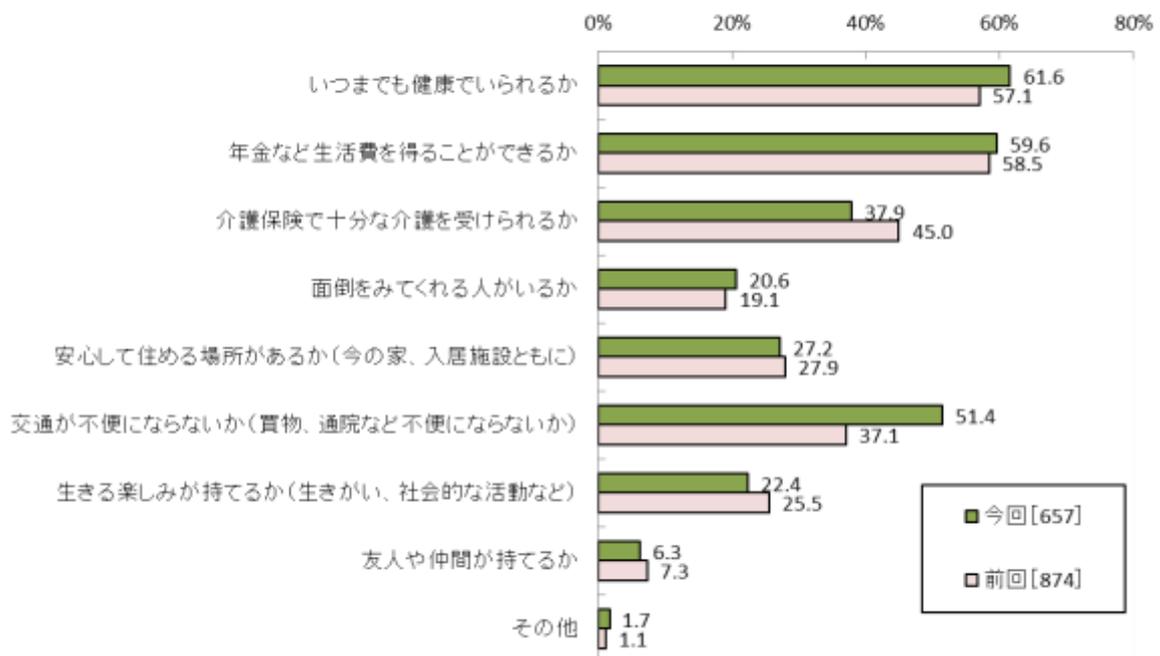
※「その他」の内容：医療（2） 診てくれる病院がない。簡単な病気もすぐ帯広へ行けといわれる 公的介護施設を長期に希望者が利用できるか 自分が入る寺があるか 面倒をみてくれる所があるか 社会状況等の変化 子供がきちんと働いてくれるか

- 性別で見ると、男性は「いつまでも健康でいられるか」、女性は「年金など生活費を得ることができるか」が最も高いです。
- 「面倒をみてくれる人がいるか」「生きる楽しみが持てるか」などは男性、「年金など生活費を得ることができるか」「交通が不便にならないか」などは女性の回答率が高く、差がめだちます。
- 年代別で1位をみると、40代以下は「年金など生活費を得ることができるか」、50代以上は「いつまでも健康でいられるか」です。
- 「いつまでも健康でいられるか」「介護保険で十分な介護を受けられるか」は年代が高いほど、「年金など生活費を得ることができるか」「生きる楽しみが持てるか」「友人や仲間が持てるか」は年代が低いほど、それぞれ回答率が高くなる傾向にあります。

<前回との比較>

- 前回と同様に、「いつまでも健康でいられるか」と「年金など生活費を得ることができるか」は僅差で、前は「年金など生活費を得ることができるか」、今回は「いつまでも健康でいられるか」が最も高いです。
- 「交通が不便にならないか」は、前回に比べて高く、差がめだちます。

【問6】老後の暮らしで不安を感じるもの(前回との比較)<1~3番目の合計>

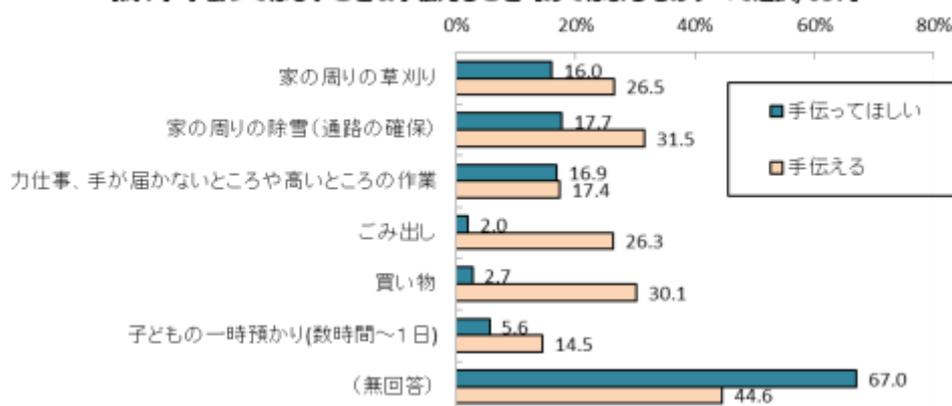


7 手伝ってほしいこと&手伝えること

【問7】ちょっとした手助けを求める高齢者や核家族の方が増えています。現在、不安があり手伝ってほしいこと、反対に、手伝えることはありませんか。(それぞれあてはまるものすべて〇)

- 手伝ってほしいことは「家の周りの除雪（通路の確保）」（17.7%）が最も高く、「力仕事、手が届かないところや高いところの作業」（16.9%）、「家の周りの草刈り」（16.0%）が僅差で続きます。
- 手伝えることも、「家の周りの除雪（通路の確保）」（31.5%）が最も高く、「買い物」（30.1%）、「家の周りの草刈り」（26.5%）、「ごみ出し」（26.3%）と続きます。
- 手伝ってほしいことは約7割が、手伝えることは約4割が、無回答です。

【問7】手伝ってほしいこと&手伝えること【あてはまるものすべて選択/657】



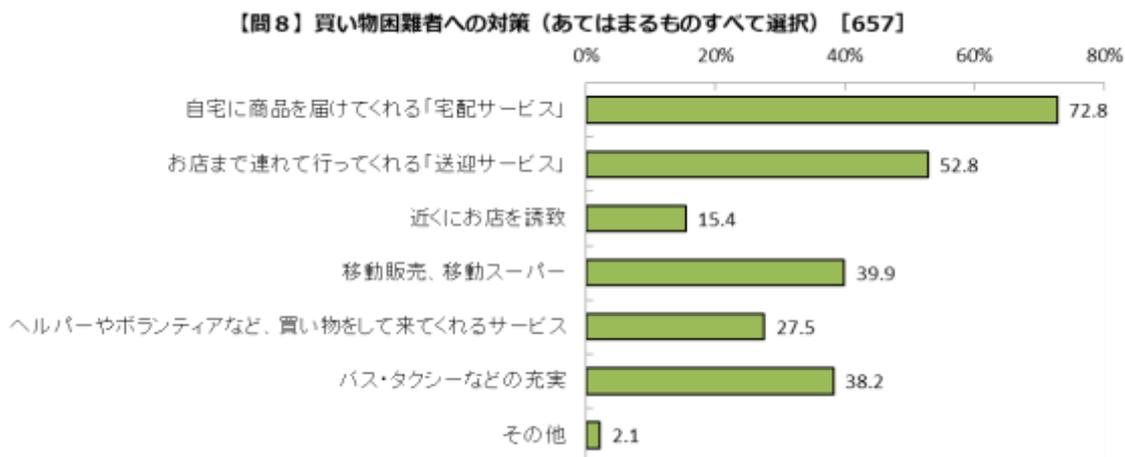
※「手伝ってほしい」のその他の内容：家事代行（2） 家の掃除（2） 家の片付け バス停までの送迎 調理 通院介助 運転が出来なくなった時病院の通院 習い事の送り迎え 子どもの送り迎え 害虫等の駆除等 ペットの面倒 お年寄りの巡回 各種申請書の書き方 支出に対する支払行為 大型ごみの片づけ、草刈りした草の運搬 農作業（大型機械、牽引による作業） 農作業の多忙期の手伝い 町内会等の運営（仕事しながらは大変なので）

- 手伝ってほしいことを性別で見ると、男性は「力仕事、手が届かないところや高いところの作業」、女性は「家の周りの除雪（通路の確保）」が最も高いです。
- 手伝えること性別で見ると、男性は「家の周りの除雪（通路の確保）」、女性は「買い物」が最も高いです。
- 男性は女性に比べると、手伝ってほしいで無回答の割合が高いです。
- （無回答を除き、）手伝ってほしいことを年代別で見ると、10代・20代は「除雪」と「力仕事、手が届かないところや高いところの作業」（同率）、30代は「子どもの一時預かり」、40代は「草刈り」、50代は「除雪」、60代と70代以上は「力仕事、手が届かないところや高いところの作業」が最も高いです。
- 手伝えること性別で見ると、10代・20代と40代は「除雪」、30代は「除雪」と「買い物」（同率）、50代と60代は「買い物」、70代以上は「ごみ出し」が最も高いです。
- 「除雪」や「草刈り」は、10代・20代で「手伝える」という回答率が、他の年代に比べて高く、差がめだちます。

8 買い物困難者への対策

【問8】高齢化により、買い物に行くことが難しい人が増えることが予測されています。このような状況に対応するには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。（あてはまるものすべて選択）

- 「自宅に商品を届けてくれる「宅配サービス」」（72.8%）が最も高く、「お店まで連れて行ってくれる「送迎サービス」」（52.8%）、「移動販売、移動スーパー」（39.9%）、「バス・タクシーなどの充実」（38.2%）と続きます。



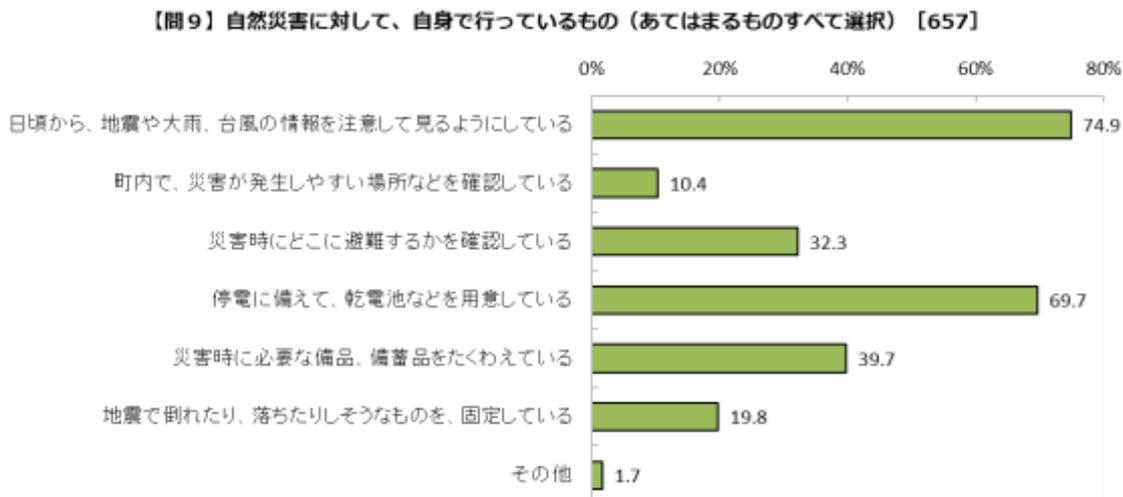
※「その他」の内容：近くのスーパーの物が買え配送できるアプリ インターネット、また広告ちらしによる（電話）発注 お弁当配る 一緒に行ってくれる ネット環境の充実 市街地の集合住宅に移住 町の中心に高齢者住宅を作る キャンパスや介護保険タクシー、福祉有償運送等の検討が必要（バス・タクシーなどの充実について）月何回まで無料にするとか コミュニティバスの一層の充実 有料で良いので配達してほしい。お金を出した方が気楽

- 性別で見ると、男女とも「宅配サービス」が最も高く、「送迎サービス」が続きます。3番目については、男性は「バス・タクシーなどの充実」、女性は「移動販売、移動スーパー」です。
- 「近くにお店を誘致」以外は、女性の回答率が高く、「送迎サービス」では男女の差が特にめだちます。
- 年代別で見ると、すべての年代で「宅配サービス」が最も高いです。2位については、10代・20代は「バス・タクシーなどの充実」、30代から60代までは「送迎サービス」、70代以上は「移動販売、移動スーパー」です。
- 「近くにお店を誘致」や「バス・タクシーなどの充実」は10代・20代の回答率が他の年代よりも高く差がめだちます。

9 自然災害に対して、自身で行っているもの

【問9】近年増えている自然災害に対して、ご自身で行っているものはありますか。（あてはまるものすべて選択）

- 「日頃から、地震や大雨、台風の情報を注意して見るようにしている」（74.9%）が最も高く、「停電に備えて、乾電池などを用意している」（69.7%）が続きます。



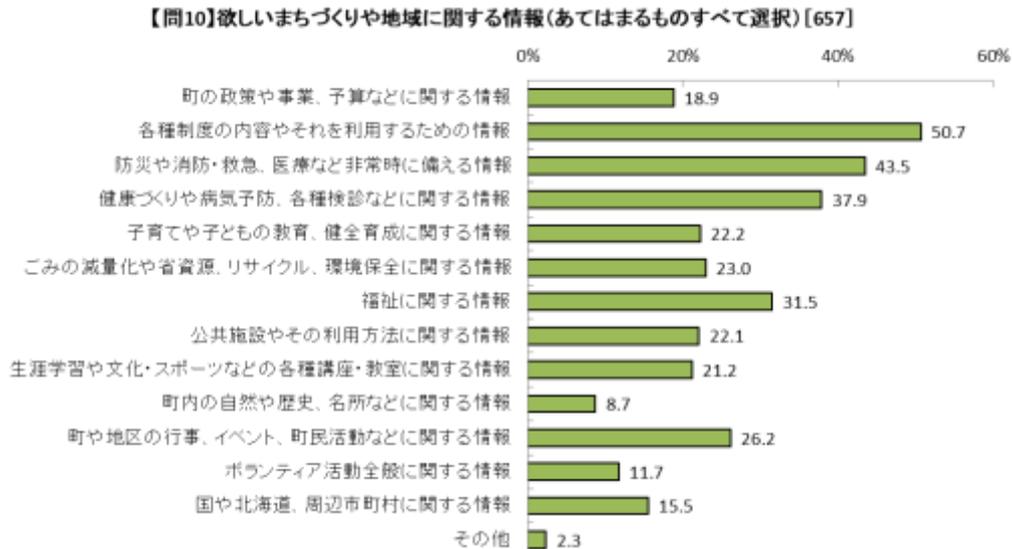
※「その他」の内容： 発電機、ガソリンを常備している ご近所さんと助け合うように話しています 家族との待ち合わせ場所を決めておく 別に住んでいる親と集合場所を共有している

- 性別で見ると、男女とも「日頃から、地震や大雨、台風の情報を注意して見るようにしている」が最も高いですが、女性は、「停電に備えて、乾電池などを用意している」が僅差で続きます。
- 年代別で1位をみると、10代・20代と50代、60代は「日頃から、地震や大雨、台風の情報を注意して見るようにしている」、40代は「日頃から、地震や大雨、台風の情報を注意して見るようにしている」と「停電に備えて、乾電池などを用意している」（同率）、30代と70代以上は「停電に備えて、乾電池などを用意している」です。
- 「日頃から、地震や大雨、台風の情報を注意して見るようにしている」は年代が高いほど回答率が高くなっています。

10 ほしいまちづくりや地域の情報

【問 10】 町政（まちづくり）や地域に関する情報として、どのような内容がほしいと思いますか。
（あてはまるものすべて選択）

- 「各種制度の内容やそれを利用するための情報」（50.7%）が最も高く、「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」（43.5%）、「健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報」（37.9%）、「福祉に関する情報」（31.5%）と続きます。



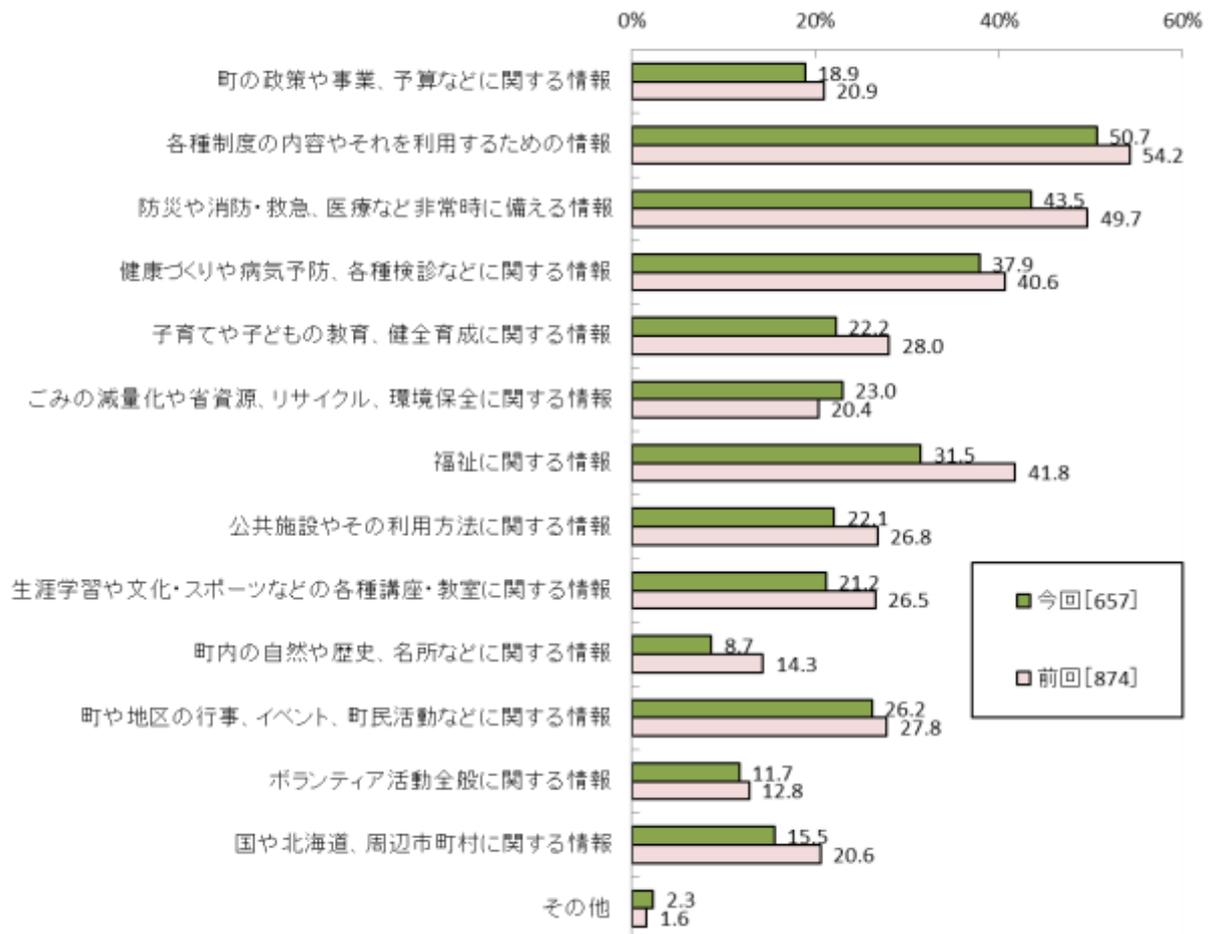
※「その他」の内容：子育て、高齢化など世代に特化した情報、新しい取り組み、サークル情報、町内の年間行事を一つにまとめたカレンダー、登録者にはメールやWebサイトの通知など、リアルタイムでの通知ができるようにしてほしい→学童はそのようにメールで通知があります。道内、道外、海外で、土幌にゆかりのある人の活躍を紹介してほしい。

- 性別で見ると、男女とも上位3位は同じですが、いずれも女性の回答率が高く、差がめだちます。そのほか「福祉に関する情報」も女性の回答率が高く差がめだちます。
- 全体的に女性の方が高いですが、「町の政策や事業、予算などに関する情報」は男性の回答率が高く、差がめだちます。
- 年代別で1位をみると、10・20代は「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」と「町や地区の行事、イベント、町民活動などに関する情報」（同率）、30代から60代は「各種制度の内容やそれを利用するための情報」、70代以上は「福祉に関する情報」です。
- 「子育てや子どもの教育、健全育成に関する情報」は40代以下、「福祉に関する情報」は70代以上で高く差がめだちます。
- 「福祉に関する情報」は年代が高いほど、「町や地区の行事、イベント、町民活動などに関する情報」は年代が低いほど回答率が高くなる傾向にあります。「町の政策や事業、予算などに関する情報」は、70代以上を除くと、年代が低いほど回答率が高いです。

<前回との比較>

- 回答率が高い上位2項目は前回と同様ですが、いずれも前回の方が高いです。また、前回の3位は「福祉に関する情報」でしたが、今回は「健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報」が3位となり、「福祉に関する情報」は前回よりも低く、差がめだちます。
- 「ごみの減量化や省資源、リサイクル、環境保全に関する情報」以外は、前回の回答率が今回よりも高いです。

【問10】欲しいまちづくりや地域に関する情報(前回との比較)(あてはまるものすべて選択)

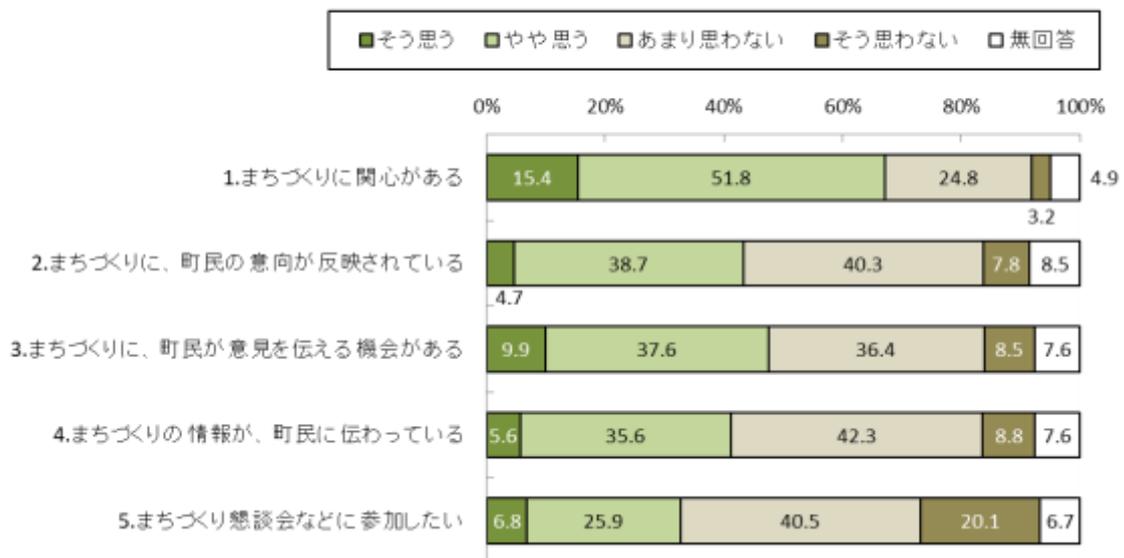


11 まちづくりや町民参加への意識

【問 12】土幌町のまちづくりや町民参加について、どのようにお考えですか。（それぞれ、あてはまるものを1つ選択）

- 「そう思う」「やや思う」とも高いのは「1.まちづくりに関心がある」で、合計すると67.2%となり、肯定的な意見が約7割を占めます。
- その他の項目は「3.まちづくりに、町民が意見を伝える機会がある」は「やや思う」、それ以外は「あまり思わない」が最も高いです。
- 「5.まちづくり懇談会などに参加したい」は「そう思わない」が約2割を占め、「あまり思わない」と合わせると、否定的な意見が約6割を占めます。

【問11】まちづくりや町民参加について[657]



12 町の施設の改修、利活用について

【問 12】町の施設で、「もっと使いやすくしてほしい」「こういうこともできるようにしてほしい」「別の使い方をしてはどうか」など、施設の改修、利活用について意見はありませんか。（どの施設か分かるように施設名もお書きください）

【総合研修センター】

- ・トレーニング室は広くして利用日(土日・午前中)を増やす。
- ・総研の一般開放日時がわかりにくい。
- ・図書館の本の種類を増加させるべき。また、インターネット検索できるように(自宅からも)してほしい。
- ・図書室に入りにくい感じがする。

【しほろキッチン】

- ・しほろキッチンを使った事が無い人には情報が少ない。しほろの特産品等使ってもっと活動してほしい。町民向けの講座や、多人数で交流できるようにしてほしい。
- ・学校のレク等で使いたいと思っても、少々値段が高い。

【士幌鉄道記念公園】

- ・士幌駅跡士幌線の廃線跡に残る唯一の駅舎なので、今後増々価値が高まるはず。水道、電気等最低限の整備をするとともに、周辺の公園スペースでのイベント開催などで、一定の集客を見込める観光スポットに育て、将来的には観光案内などが可能な空間として活用できるようにしてはどうか。

【道の駅】

- ・道の駅に大きな公園(遊具やドッグランなど)を設置してほしい。
- ・町民アンケート等による改善点の見直しで町民がまた行きたいと思うような工夫が必要。

【士幌高原のロッジヌプカ】

- ・士幌高原のロッジヌプカで星を見られる様にしたり、写真など展示してあるものを定期的に変えたりした方が良いと思います。お土産のお菓子など、もう少し変えてみてはどうでしょうか？

【美濃の家】

- ・美濃の家→せっかく広々とした良い場所にあるのに、ただ見るだけの施設だと行く人が少ないのでは…と思います。建物の雰囲気そのまま活かして古民家カフェのようにするなどして学びながらゆっくりできる場所にするとか、使い道を探ってみてはと思います。

【こども園、子ども交流センター】

- ・改築する予定のこども園を妥協せずしっかり作ってほしい。
- ・保育所全て無料にするのではなく、延長や土曜保育などは料金を徴収して、公平に費用や負担のかかるごはんの持参や給食費の助成などを考えてほしい。
- ・障がいをもっている子どもも士幌の学童施設に入れるようにしてほしい。

【閉校した小学校】

- ・小学校跡地利用について。もっと積極的に町が地域と話し合い有効利用してほしい。
- ・宿泊施設やスポーツ関係の合宿での利用。町内だけではなく広く利用を求める様にしようか。
- ・閉校した学校を解体し土地を販売し、税金を得る。または、ホテル、旅館等の会社を誘致してみるの？

【国保病院】

- ・国保に小児科が欲しい。もしくは内科医に小児も診ることができる、注射できる人をおいてほしい。
- ・子どもの予防接種を国保病院ですべて受けられるようにしてほしい。

【総合福祉センター】

- ・福祉センターをもっと自由に使いたい。

【公民館】

- ・昔、公民館に移動図書館が来たり図書室があった気がしますが、今でも有りますか？子供達が自由に気軽に公民館で遊ぶ事が出来ないのでしょうか？皆、学童に行くから公民館へ行く必要は無いのでしょうか？移動図書カーが来たら保育園の先生だって、紙芝居を借りたり出来ると思う。
- ・公民館の改修が必要(寒い、地震が起きたら崩れそう)。

【火葬場】

- ・他の施設に比べて、土幌の火葬場の焼台がとても嫌で、亡くなった方への尊厳がないと思います。なので、他地域に越したい、言っている方もいるのは事実です。終活が盛んになっているこれからは、自分の最後を考えていく事は多いと思います。白衣も嫌です。

【役場】

- ・災害時にトイレが使えなくて大変だったので、役場など夜もトイレを使用できるとありがたいです。
- ・難しいと思うが、役場内の課があちこちにあるので、とても面倒に思う(子ども課はこども園、町民課は役場など)。いろいろな書類や申請をするのなら、窓口は同じところに欲しいと思うのが本音。

【公営住宅】

- ・公営住宅で入っているところにも改修してほしい。
- ・町営住宅(単身者)、或は、新設住宅(単身者?)を充実、へきち教員住宅を定住に徹底してもらいたい。へきち教員住宅の改修工事も必要。閉校した校舎も、集合住宅にする等、必要。

【公園】

- ・土幌町には、大きな公園がないので、公園を充実して欲しい。子ども達が自由に使用できるスポーツ施設(屋外)があると良い。例えば、バスケットやフットサル等。総研はゴールの出し入れなど不便。子どもだけでの使用ができない。舗装された坂道(ローラースポーツ用)やスケボなどのコースがあると良い。廃校した小学校跡地をキャンプ場や青少年研修施設にして欲しい。
- ・遊水公園は石がゴツゴツしていて、危険。コンクリートなどで平均し、小さな子どもでもあそべる公園にすべき。

【情報提供】

- ・一般町民でも、ホールなどを借りてのイベントを企画しやすいようにしてほしい。相談窓口や、見やすいレンタル規定などがほしい。どこが受付で、どこに相談したら良いか非常にわかりにくく、またHP(土幌町役場HPなど)を検索してみたが、そのような情報が見当たらなかった。

【バスタッチ】

- ・バスタッチ付近の花だんが草だらけなのでみぐるしい。
- ・バスタッチのそばのベンチのまわりにゴミ、枯れ葉、虫が集中しているので撤去してほしい。

【その他】

- ・旧消防署、トレセン等の利用は出来ないか？
- ・フクハラ、ツルハ、100円ショップなど、民間の企業店ができてほしいと強く思う。
- ・どこを改修するにしても、改修してほしい場所を伝えても、困っている現場の声を確認せず、いきなり工事が始まるなど物事が進むので、このアンケートや意見を出しても意味があるのか疑問。
- ・夜間の町内の街灯をもっと増やしてほしい。
- ・不要施設の取り壊し。

13 定住、移住を促進するための提案やアイデア

- 【問 13】土幌町では人口減少を抑え、地域を活性化するために、住宅の整備や若者の活動支援、道の駅の整備による交流人口(町を訪れる人)の拡大などに取り組んできました。「今住んでいる人が住み続ける」または「土幌町に移り住む人を増やす」ためのご提案やアイデアがあり

ましたら、お書きください。

(1)今住んでいる人達が住み続けるためのご提案やアイデア

【生活環境、生活基盤】

- ・下水道の整備。全ての地域対象に、町主体で(町負担)整備。
- ・住みやすい環境整備。

【景観】

- ・空き家対策や周辺の雑木、雑草の一掃。

【情報通信】

- ・インターネットの充実、通信インフラの充実。

【除雪、冬の道路】

- ・冬の除雪が来るのが遅すぎる。
- ・冬道、アイスバーンにならないように、どの道も防雪柵を完備すること。

【公共交通】

- ・高齢者の移動交通手段のサポート(3)
- ・コミュニティバスの充実。
- ・仕事を音更や帯広にしても交通費がかかるので、学生、労働者ともに交通費の援助があると、町を出ることを防げると思う。

【住宅】

- ・個人空屋の活用支援。
- ・公営住宅の充実。所得制限が厳しい。
- ・家賃補助。
- ・今の若者は広すぎる土地は望んでいないことが多いので、もう少し狭く安くして定住を目指した方が良い。

【公園】

- ・子供からシニアまで気軽に利用できる公園の整備。水遊び、アスレチック等をそろえた大型公園等。

【医療】

- ・病院の診療科。整形、皮膚科、眼科、小児科があればいい。
- ・病院が無くならない事。
- ・町立病院の廃止。音更や帯広の病院に入通院した方がマシ。

【福祉全般】

- ・福祉の充実、社会福祉サービスの充実
- ・子育て支援や高齢者等立場の弱い人への支援。

【子育て支援】

- ・子供が安心して過ごせる街づくり。
- ・子供を生めば儲かる仕組みを構築する。

【高齢者支援】

- ・見守り住宅や持ち家のない人が年を取って住めるところがあると安心。
- ・食品の宅配サービスや、病院までの送迎サービス、孤立しないための地域でのサポートなど。
- ・地域活動を強化しながら(地域の施設を有効活用など)健康長寿につながる交流の場、生きがいを感じ

られる機会を増やしていく事が必要。

- ・年寄が年寄を助けている状態なので、何か良い方向性がないのか。
- ・老人施設を増やす。

【教育】

- ・教育の充実、教育制度の充実(3)
- ・子育て世代は教育資金が必要と思われます。子育てを地域で見守っていくためにも進学の為の借入が出来るとう力になると思います。この資金を町民金庫で集める形式を取れば良いと考えますが、町民の人々の理解を得る事とセンスのあるネーミングが必要となると思います。
- ・大学生の進学支援金などの充実。

【スポーツ】

- ・スポーツを楽しめる場を増やす。

【働く場、雇用】

- ・働く場所を増やす、働く場の確保(10)
- ・高齢になっても働ける場所が必要。
- ・町内での正社員、パート等の仕事の選択が可能になること(販売、事務等)。
- ・仕事を探す際に、いろいろな情報が欲しい。
- ・子どもが小さいと、預けて働かなければいけないが、平日は 18:30 までしか保育園は預かってくれないし、土曜日に預けると、本当に仕事ですか？と保育士に言われる…。町外で働くことはできないし、土・日のサービス業はできないので、夜遅くまで土・日祝も対応してくれる町へ移るしかない。

【商業、店など】

- ・商業施設の整備、誘致(13)
- ・飲食店の充実(14)
- ・飲食店(土、日も営業している)。
- ・商店街の活性化、活性化(6)
- ・買物支援(店からの宅配・移動販売等)。

【農業】

- ・農業など担い手を減らさないようにする。
- ・農業者や商工業者の経営安定、後継者教育。
- ・農業後継者への婚活事業。

【観光】

- ・道の駅は不十分。周囲にキャンプ場や公園、スポーツ施設等の体験型施設を作り、魅力アップさせる。

【イベント】

- ・地域全体で町おこしをできる様なイベントを設けてみてはどうか？(陸別のしばれフェスとか…。)外からの観光客も受け入れる物がないと、地域全体が潤わない。
- ・町民が主体性をもって参加するイベントや行事が少ない。もっと町民のアイデア(イベント主催等)を受け入れ、後援するくらいの器や受け皿であってほしい。(しほロック等は、新しくて良い例だと思う。)

【コミュニティ、交流など】

- ・人と人の顔が見られる、集う場所が望まれる。気軽に立ち寄り、人々の会話がはずむような場所。
- ・コミュニケーションをいかにうまく取るか。回数ではなく、相手が何が出来るか理解しお互い興味を持てるか。チームワークの育成。
- ・魅力あるコミュニティの場を作る。

【若者】

- ・若い人が住みやすい環境(住宅、仕事)、若者が外部へ流出しない様な対策。

- ・若者の活動、整備する人々、取り組んでいる事を応援したい。
- ・若者世代のまちづくりへの関心を増やすため、まちづくり懇談会若者バージョンなどを行う。

【安全】

- ・治安の維持。
- ・住宅街の防犯。
- ・出生から一生を終えるまで、安心して暮らせるための行政サービスの向上、拡充。
- ・僻地に信号機などを増やす(道路がまっすぐなので交通事故が起こりやすそう。)。安全性を向上させるべき。

【便利】

- ・ずっと住み続けても困らない様々なサービスの充実。
- ・町民にとって便利だったり、目新しいシステムの構築。

【活気】

- ・町内の賑わい。
- ・土幌が他の町村より活気がある町だと思えること。

【誇り】

- ・究極は、我が町に胸を張れるようにする事でしょうか。

【良さ】

- ・この町だからこそ良いところを見つけ、伸ばす。内からではなく、外からの視点で調べてみるべき。
- ・土幌町が魅力的だと思えるように、SNSで発信するといったのではないか(個人が)。
- ・他町村で住むことに比べて、経済的な利点があるかどうか。
- ・多少不便があっても「これがあるから土幌は良い!」と思えるポイントのある町づくり。
- ・年齢別に意見が異なると思いますが、「田舎らしく」「田舎らしさ」を失わないこと。

【行政運営】

- ・「目安箱」と「すぐやる課」のような部署の設置。長く住んでいる方々からの課題は、解決することが出来れば直に移住希望者へのアピールポイントになるはず。
- ・特定の人だけでなく、住んでいる人みんながお得だと思えるような保証・制度があるといいと思います。

【施設】

- ・焼肉ハウスの建設。
- ・仕事をしている若い世代が利用しやすい公共施設。平日、週に1度とか少し遅い時間まで図書館が開館していたりするといったのでは。

【その他】

- ・自分も同様、町民の町に対する関心不足が多いと感じる。このアンケートを機に、データをもっと町民に発信する必要があるかと思えます。
- ・行政サービスの継続。低下させない。

(2)土幌町に移り住む人を増やすためのご提案やアイデア

【知ってもらう】

- ・「土幌」の認知度向上が必要。7,000 人の祭りなどをもっと外部へ向けた企画や発信など、観光する目玉となるものを新規にもしくは既存のもので立ち上げ、その「芽」を育てていく活動。

【PR、情報発信】

- ・自然災害が少ない。北海道しいては日本の町村の中で大きな川がない。土幌町では地震以外の災害が

- 起らない。こんな町ないので、全国にPRするべきでは。「日本一安全な町」とか？
- ・20～60才までの方々に対する移住に関する情報。
 - ・SNSの活用。

【魅力】

- ・今現在、住んでいる人たちが「いいところだ」と思うこと。それを外部の人に感じとってもらうこと。口コミやレビューのような実際の感想がわかるといい。

【支援、メリット】

- ・移り住むための初期段階での支援の充実。
- ・十勝管内の他町村と比較して、どのような魅力、利点があるのかを明確にする。
- ・僻地の学校を閉校するのではなく、山村留学など土幌を知ってもらえるような事があると良い。

【景観】

- ・もっと町全体がオシャレになったら良いと思う。派手とは違い、自然とバランスのとれた雰囲気。ヨーロッパの街並みみたいな、田舎でも良さげな感じ。

【環境】

- ・自然を生かした取り組み(キャンプ、温泉、グルメ)。

【情報通信】

- ・通信インフラの充実。

【冬の道】

- ・冬道、アイスバーンにならないように、どの道も防雪柵を完備すること。

【公共交通】

- ・バスの無料券を配布してほしい。
- ・通院等の時の交通機関。

【住宅】

- ・空き家情報等を町内外に広く提供する事。
- ・空き家等をリフォームして再利用。
- ・公営住宅を3LDKなど広めのものをもっと用意してほしい。
- ・家賃を安くする、家賃の補助、一部負担(4)

【公園】

- ・公園の整備(2)

【医療】

- ・医療機関の充実(5)

【福祉全般】

- ・社会福祉に対してまじめに考える。施設、人員、サービス内容、働き手の気持ちを大切に。町としての明確なビジョンをうちだす。具体的に。

【子育て支援】

- ・保育サービス(子育て支援)の充実。保育士の確保も必要。
- ・安心して遊べる屋内施設など子育て支援
- ・出産、育児等の経済的支援。

【高齢者支援】

- ・高齢者に優しい町づくり、優しいサービス、手厚いサービス(3)

- ・廃校を軽老人施設として活用(校舎の貸付、売却)。

【教育】

- ・教育等の経済的支援。
- ・特色のある教育環境(例えば東京、千代田区千代田区立麴町中学校みたいな、特色を町をあげて力を入れる等)。
- ・生涯教育の充実。

【産業】

- ・産業が増える事(2)
- ・産業の中心は農業でありながらも離農、機械化で農業従事者が減る一方であると思う。2次産業の誘致で仕事を作る。

【働く場、仕事】

- ・企業の誘致(11)
- ・若い人達が働ける場所を多くする(3)
- ・魅力ある仕事など、若い人に来てもらえる(道内、外、外国)取り組み。
- ・Iターンをしたい人への仕事の情報発信。
- ・働く場所の確保(労働者の確保、労働環境の整備)と働きやす環境の整備。
- ・北海道外からの転入者の斡旋→就労サポート、土幌町内の農家へ斡旋、HPを作るなど。ex新得。
- ・新たな事業、開業等支援。

【商業、店など】

- ・飲食店の充実、食べる所を増やす(6)
- ・スーパーを増やす(3)
- ・ドラッグストアを増やす(3)
- ・買い物に困らない、買い物しやすいこと(2)

【農業】

- ・新規就農者の受け入れ。

【観光】

- ・観光案内の充実
- ・観光地等の充実により、まず「足を踏み入れてみたくなる土地」へ
- ・体験型観光への協力(鹿追のような)

【イベント】

- ・インバウンド等、呼び寄せるイベント開催等(新たな)。

【コミュニティ、交流など】

- ・交流の企画、場を設ける。
- ・集える場所(交流など)の環境を整えること。

【町民】

- ・地域の人々がどう接するか、迎えるやさしい気持が必要。
- ・面倒見のある人物(親的に)がいる事。
- ・本当に来てほしいなら、閉鎖的な雰囲気改善し、喜んで受け入れる体制、雰囲気をつくる。

【若者】

- ・若者への興味関心を持ってもらえる様に。
- ・町づくりに住民、特に若者層が参画できる場を増やし、そうした場がある事を丁寧にPRする必要があります。その点で、地域おこし協力隊の活動報告会などは、道内でも先進的な取り組みであり、町に

根ざしたい移住希望者を引きつけるものだと思います。

【活気】

- ・町に活気がある。

【中土幌】

- ・中土幌地区の帯広方面へのベッドタウンを狙っての整備と支援、広告が現実的かと思う。
- ・土幌町の玄関口として中土幌を活性化しないと土幌に活気はもどらない。

【行政運営】

- ・役場で働く人の数を減らす。
- ・役場内の対応が遅い、見えにくい。

【公共料金、税】

- ・公共料金の一部負担等。
- ・公共料金等の減額。
- ・税金などの緩和。

【ふるさと納税】

- ・ふるさと納税がポイントで移住者を募り、職があれば定住。
- ・ふるさと納税を使って、農業等、新しく始められる様、大学生等の育成、就農環境作りをする。

【その他】

- ・町への移住を具体的に考えられる仕組みづくり。
- ・仕事、住宅などの単発的な情報ではなく、例えばこのくらいの給与の仕事があって、このくらいの住宅費で、このくらいの生活費で、4人家族であればこんな生活ができるなど、総合的な生活モデルの具体的な提案が必要。
- ・休日などに1人でゆっくり、もしくは家族でゆっくりできるような憩いの場づくり。
- ・新しい考え、意見を聞き、できる事から、実行すること。
- ・他の街から仕事に来ている人は、とても多い。その人達は、なぜこの街に住まないのか聞いてみると良い。理由があるから仕事には通うけど、住みたくない！これが一番参考になるのではないですか。

14 まちづくりへの提案やアイデア

【問 14】最後に、今後のまちづくりでの新たな取り組み、重点的に行うべき取り組み、まちづくりへのアイデアやご提案などがあれば、お書きください。

【景観】

- ・町中をもっと綺麗にしませんか。特に、市街地の道路、公園はあまり綺麗ではありません。民地から道路に木の枝が覆いかぶさっていて、長年放置されている所もあります。行政側から町内会などに持ちかければ、できる事もあると思われしますので、小さな事から始めませんか。
- ・土幌町の市街地、景観の整備など、空き家、見た目が悪い。街路地などの整備(草・ゴミ)特に、車の往来が多い所など、バスタッチの回りなど、草が伸び放題、空地も草ぼうぼう、特別、立派な物はいらぬけど見た目の街、すっきりした美しさがほしい。特に、街の入口、他からの車の往来の多い所。自分達もよその町に行ってそういう事に目を向ける。すっきり、清潔、緑豊かな町に！落ち着く町。
- ・本町市街地、国道緑市街地全ての電線を地下に埋める事、なかなかむずかしいとは思いますが、希望します。景観がかなり良くなると思います。震災時電柱被害が防げると思う。

- ・廃校した場所、空き施設、空き家など利用を考える。
- ・ゴミのポイ捨て対策

【環境保全、エコ】

- ・空地を利用して、太陽光発電を増して、災害時対応すれば良いのでは？
- ・悪臭～街全体が悪臭に包まれる事がある。対策はないのか？

【ごみ収集、リサイクル】

- ・燃やせるゴミの収集日を週2回にしてほしい。
- ・草、木など環境整備で出たゴミの無料回収。
- ・大型ゴミの収集日をもっと増加して欲しい。
- ・資源ゴミの収集は、市街地以外にも毎週きてほしい。
- ・町が分譲した宅地に新築した時、補助金をだすのは結構だが、何に使うか自由ではなく、最低条件としてごみ収集用のカゴの設置を義務づけてほしい。ネットではなく、カゴだよ、カゴ。補助金をもらっておきながら風の強い日にネットもカゴもなく当然のごとくゴミを飛ばして、人の畑にとばしている馬鹿野郎がいて腹が立つことこの上ない。

【交通安全】

- ・旧北中小の交差点が危険すぎる。
- ・郵便局の駐車場がかなりせまく危ない。出入口も歩行者と車が多くて怖いので整備できないか。

【防犯】

- ・朝早く5時前出勤で仕事している。夏場は良いが冬場、公共の駐車場等、暗すぎて危険(足元が見づらい等)日の出を待たずに仕事している町民のことを考えてほしい。
- ・子どもの安全を守るために防犯カメラ、街灯。土幌町は死角が多いと思います。
- ・子ども110番の家を学校や家庭に周知すること。

【防災】

- ・役場に独立した防災部局を作るべき。自主防災組織まかせではなく育てることも必要。
- ・災害時のハザードマップをもっと町民に周知して欲しい。水害時の避難場所が道路よりも低い場所が指定されている所がある。見直して欲しい。危機意識を疑ってしまうような町の姿勢にがっかりしている。

【道路】

- ・環境整備の充実。特に国道付近の整備。
- ・小学校の横の道のように、狭い道は危ないと思う。車2台がやっと通れるような所は広いと嬉しい。
- ・歩道の段差がなるべく少ないとありがたい。

【除排雪】

- ・個人までの家の道路整備は必要ないと思うが、集合住宅やアパート等の住宅が密集している付近の生活道路はしっかりと整備し、冬期には除雪もすべき。
- ・私の家の回りは高齢者が多いので、特に冬、除雪をしない家があります。除雪車が来るのはすごく遅く、車で出勤したくても、埋まってしまっていて、車自体動かせない時がありました。そして、道路(国道)まで出る道も、除雪が入っていない、私の車(軽自動車)では埋まってしまいます。どうにかできないでしょうか？
- ・歩道の除雪。

【情報通信】

- ・農村部での通信環境(ネットが十分に使える)。

【公共交通】

- ・高齢者の自動車運転免許返納後の移動手段。
- ・農村部は特に交通の便が悪い。高齢ドライバーの事件が多く免許返納を促す為にもコミュニティバスをもっと広く走らせてほしい。
- ・他町村みたいに乗合いタクシーなど、車の運転ができない人が利用できる交通手段を考えてほしいと思います。
- ・土、日もコミバスの運行を願う。温泉行のバスの回数を増やしてほしい。手押し車でも町のバスに乗せてほしい。
- ・緑風荘温泉行きを現在週1ですが、回数を増やせないか？
- ・タクシーの助成金。

【水道】

- ・水道代を安くしてほしい。
- ・水道事業の民営化には絶対反対！！水は命！！

【住宅、宅地】

- ・土幌町に移り住む人を受入に、住宅をもっと整備願いたい。
- ・世帯向けの賃貸が無い。町営住宅があるのかもしれないが、中の写真がHPとかに載っているのか？若い人は不動産屋のHP見るので、どんな間取りで設備があるのか、いま空いているのか分かると引っ越ししやすい。
- ・町の便利な場所に空き家が多いので、一掃して新しい世帯を増やすべきだと思う。とにかく住みたくても家族向け住宅や土地が少なすぎる。早急にどうにかしてほしい。
- ・子育て世帯の住宅を、もう少し充実させてほしい。2LDKばかりではなく、3LDKの間取りの住宅もあっていいのではないか。
- ・ペットがいても住める家を増やしてほしい。ペットがいると住む所がない。
- ・保証人制度を廃止してほしい。

【公園】

- ・子供が遊べる公園をもっと作ってほしい。
- ・前回、前々回も記載しましたが、大きい子どもまで体をいっぱい使って遊べるアスレチック的な遊び場を作ると、他町からも多くの子どもたちが遊びに来て、人を呼び込めると思います。
- ・郊外に憩いの場となる公園とトイレ、駐車場があれば、できれば大型遊具も…場所は274の音更川近辺。

【健康づくり、保健】

- ・健診や予防接種などへの補助金を充実させる。
- ・土幌の病院で町民に健康講座などをひらき、もっと受診者をふやす工夫をしたらどうでしょう。医者が4人もいて、あいている時間もあるでしょう。健康相談など定期的に行うとか。

【医療】

- ・町内に小児科があれば良いと思う。
- ・インフルエンザや日本脳炎などのワクチン接種の日程が少なすぎる。改善してほしい。
- ・医療に困っている方の相談役がしっかりと対応し、土幌町内でも十分に対応が可能なことを教示していく必要があると思います。

【福祉全般】

- ・福祉に困っている方の相談役がしっかりと対応し、土幌町内でも十分に対応が可能なことを教示していく必要があると思います。
- ・ボランティアしたい人と、ボランティアしてほしいところを結ぶ機関が、いつも情報を発信し、その結果を情報紙に流してもらえると、私にも参加できるかなと思える人もいっぱいいるのでは…と思います。

【子育て支援】

- ・高齢者より子育て世代を手厚く保護しなければ町の人口は先細りになっていくことは目に見えている。

子育て支援にもっと町は取り組むべき。

- ・不妊治療への助成。子だくさんの家庭のみ得するのはどうか？
- ・子どもについても、将来町を支えていく1人と考えて、療育、保育共に(特に療育と健診)専門性の確保は見直されてみてはどうでしょうか？職員配置を特に(少ないと思うのですが…)
- ・子ども医療費の助成を、高校生、大学生までにしてほしい。土幌に移り住む人を増やすことにつながると思う。
- ・保育園での土曜保育も帯広では給食でした。学童も毎週土曜日は開いています。他の町や市を知っている人は何て不便な町なんだ…と落胆してしまうのが現状だと思います。

【家族で過ごせる場所】

- ・町内には子供が遊べるレジャー施設等がないため、休日は町外に出る人が多いと思う。休日に人々が集えるような所があればと思う。

【高齢者の支援】

- ・高齢化が進み、介護や買い物移動の困難な人が増える。
- ・健康寿命を延ばし、元気な人々を応援して、孤立した人をできるだけ出さない。
- ・今現在の土幌には私が60才頃には住むのは不安な町です。買物難民になります。
- ・高齢者の安否確認。
- ・高齢者で1人で帯広等への病院へ行けない人の送迎(上土幌町では、社協で行っている)。
- ・介護に困っている方の相談役がしっかりと対応し、土幌町内でも十分に対応が可能なことを教示していく必要があると思います。
- ・介護施設を増やしてほしい。通所では結局家族が面倒みないといけないので働く事ができない。

【障がい者や弱者の支援】

- ・障害者に優しい町づくり。
- ・LGBTの方々、障害のある方など、何らかの形で生きづらそうな方々を支援する取り組みが必要。(カミングアウトしやすい環境など)。

【教育全般】

- ・教育環境でも、うちの町はこういうことに特化していますよといったものが必要かと思っています。

【学校教育】

- ・小・中の検定受験代補助はすごく有難いです。
- ・「教育」の充実はこの町(田舎)にとって不可欠！！講師を呼ぶ。勉強会を盛んにする。化学実験をやってみよう！でんじろう先生的な。〇〇見つけてみよう。←エコロジーパークのように。
- ・土幌町の給食は、どの町よりも美味いそうです。この強みをもっと活かしては…。
- ・子供たちが遊びながら学べるような教室などいいと思います。
- ・役場が主催して小学生が勉強できる場所の開設。
- ・少年団活動に対する支援。
- ・土幌高校にお金をかけるのではなく、町内の子どもに高校支援金を多く与えて欲しい。
- ・高校になると、帯広や音更に通う子も少なくないので、それを機に引越すという話もよく聞きます。一度出ると戻るとは少ないので、出ない方が良く思えるような対策が必要だと思います。
- ・観光とふるさと納税の観点で、土幌高校とのコラボレーションを充実させるべきだと考えます。同高校は全国に15しかない町立高校の1つであり、かつ企業などとの協働活動でもすでに知られつつある存在です。ヨーグルトやヌブカの雪どけなど、人気商品も持っているのです。例えばそのレシピを元に町内の福祉施設などである程度の量産体制を整え、道の駅で販売したり、ふるさと納税の返礼として学校のガイドツアーを用意するなど、現在の土幌高校の優位性を町を挙げてさらに押し広げることができれば良いと思います。
- ・土幌高校は思い切って廃校にする。農業高校としての使命は無くなったと思います。町立という事で予算が取られ過ぎです。

【芸術文化活動】

- ・美術、文化的イベント(演奏会、コンサート、イベント)が少ないので企画してほしいです。
- ・空き家なども目立ってきているので、空き家や空店舗、廃校などを活用して音楽や芸術をやりたい方などに活用してもらうなど、人を呼び込める何かが必要ではないかと思う。
- ・お金にならないかもしれないが、文化財、絵画etc、色々あるのに宝の持ちぐされ。総研2階に色々あるのに、職員に学芸員資格、持っている人いるのか？浦幌町、上土幌町、鹿追町、足寄町、少し参考にしてみては？
- ・歴史ある場所や建物の維持、保護。
- ・町の重要文化財を制定してみてもどうか。観光客も増えるかもしれない。

【スポーツ】

- ・定期的にそのスポーツのプロなどによる小中学生へ指導してもらう会を開く。
- ・大会等で町外から人が来る機会があるので、大会場(体育館、サッカー場、野球場)のまわりの充実をすると良いかもしれません。
- ・子ども用スポーツ施設を充実して欲しい。

【働く場、雇用】

- ・働く場を増やす。
- ・大学卒業後の就職がない。
- ・65歳過ぎても働く場所を提供してほしい。
- ・本町には食品工場がありますが、働き手は町外から来てもらっています。なぜでしょう。工場は送迎コストが大きな負担となり、競争力が無くなっていくでしょうし、町も住民ではないので対策も取れないでしょう。が、しかし、定住してもらうと町が最も恩恵が有る訳ですから、事業者(JA)と新たな連携を模索すべきだと思います。それは住居や子育て支援をトータルで対応すべきでしょう。具体的には、事業者から定住者(食品工場で働く方)に対し、町に拠出金を出してもらう(送迎費と見合う額等)財源と町の財源となる一部を合わせて支援する等が考えられます。

【企業誘致や新たな事業支援】

- ・企業誘致することはなかなかできないと思いますが、貸オフィスの提供をしてはどうか。夏、冬期間を保養を兼ねて土幌に来てもらう。まずこの町に他府県の人に来てもらうのが目標。
- ・企業を誘致して働く人を増やすことが大事。
- ・日本には、起業したり、小さな町の活性化に興味のある人が沢山いると思います。SNS等で、そういった人たちに土幌をPRし、町内で新しくおもしろそうな事を始めてもらった方が良いと思います。年配の人を助けるには、若い人が増えないとできません。すでに町民の人も、町で新しいことを始めるのに興味湧けば、土幌全体の活性化になると思います。飲食店は、居抜きで誘致しやすいそうです。
- ・農業の町だが、商業企業の誘致又は起業・創業の充実化の取り組みを計れば、町民の人口が増えるのではないかな？

【農業】

- ・農業の振興に力を入れてほしい。若手が減っている。
- ・JA以外の個人経営の人達を絶やしてはいけない。ある程度、競う環境が必要。土幌町はJAが強い事がメリットでありデメリットだと思う。
- ・肉牛産業の加工品の充実。
- ・観光地を増やすことは難しくても、特産品の開発などで町に人を呼ぶこともできるのではないだろうか。
- ・「しほろ牛」を売りにしているが、町内でしほろ牛を提供するお店(焼肉店)がないのが、とても残念。外に出すことも大事だと思うが、町民に食べてもらうことを考えることも、大切ではないか。
- ・土幌町の特産品を外部に発信して、知名度を高めていくこと。

【商業、店】

- ・町内の商業施設があまりにも元気がない。大型商業施設の誘致も重要だが、既存の店が共存できるアイデアが必要。

- ・町に魅力がない。商業施設を誘致すべき。
- ・色々な買い物施設があればいい。
- ・隣町までいつも買いに行かなくても良いような便利なお店があればうれしいです。例えば、100円ショップとか、ドラッグストア、お惣菜、お弁当屋さんとか…。

【観光】

- ・もっと明確なPRポイントを作って、町外の人が魅力を感じて、足を運びたくなる要素を作る必要があると思う。
- ・自然を生かした観光。
- ・目玉となる物が欲しい。「新ピア21しほろ」は頑張っているけれど、新しい観光産業、新商品等、次世代に繋げられる物が必要だ。

【イベント】

- ・イベントの少なさ、人を呼べる様な街全体のイベントが欲しい。
- ・冬、外に出て行えるようなイベントがあると良いと思います。

【ヌプカの里】

- ・町の観光地の一つであるヌプカの里のさびれ感が尋常じゃなく、勿体無い気がします。景色はいいのに、あまり長居したりのんびりと見て回れる所が少なく、子供が遊べる遊具の劣化が気になります。

【道の駅】

- ・道の駅に子どもが遊べるものがあったら絶対に良いと思います。子どもが楽しんでいたら、親も嬉しいと思います。親子で楽しい思い出が出来る町にしてほしいです。
- ・道の駅の利用について、町民の意見を聞く機会を設け、できる限り実現できるよう町として支援してほしい。

【コミュニティ】

- ・今、取り組んでいる活動が人々を動かしていると思う。若者達から智恵を頂きましょう。
- ・縁もゆかりもない、新たな移住者からしてみると、他町村に比べて閉鎖的な町に感じる。

【土地利用】

- ・土幌と音更の真ん中の中土幌を活性化させなければ、土幌の活性化はない。(60代男性)
- ・土幌高校を市街地に移転し、市街地を活性化させる。

【その他】

- ・役場で知らされた郵便番号と、郵便局で知らされた郵便番号が異なり、最初戸惑いました。統一していただくと初めて土幌に住む人には親切だと思います。
- ・今は何でも手に入れる事が多い我慢・辛抱という生活がありません。若い人も外へと歩き出る事もしませんね。音更・帯広に近い立地なので土幌ならではの物がほしいです。

【住み良さ】

- ・ここがどこよりもいい場所だと言う事を若い人にばかりでなくみんなが思う事。内地、外国のよい所も認め、都市もいいけどここに帰ればほっとする、そのような意識や好奇心を全体に育む事が大事。
- ・今住んでいる人が住みやすくなれば、人は増えると思います。

【定住促進、人口減少抑制】

- ・土幌の強み、弱み色々あると思うのですが、まずは人口を減少させない取り組みが大事。
- ・こんな田舎に住み続けるメリットがただでさえも無いって、生活もままならない。町外流出も当然といえる。婚活やお見合いやら、行政の考えるイベントはどこかズレている。おじさんがよかれと思って考えたイベント臭がプンプンする。わりと余計なお世話だ。そんなイベントを行うくらいなら、商業施設や娯楽施設にて恒常的に人との交流をはかれる場をもうけた方がよほど建設的である。
- ・長いビジョンで若い人が集い生活できる環境づくりが必要と思う。

- ・若い人が入って来てもらえる様、住環境や働ける場所、就農に向けての実習場所等、もっと、若い人が少子化で少なくなっているの、考えた方が良くと思います。
- ・土幌町にある良さを知って長く住みたい町だと思うためには、他の市町村と足並みをそろえる事が重要だと考えます。

【人づくり】

- ・町づくりは人づくり。教育はもちろん、老若男女のコミュニケーションを活性化できるしかけ、そこから生まれるアイデアやエネルギーを受けとめて生かす、町の仕組み。

【婚活、交流】

- ・婚活事業に力を入れて欲しい。
- ・人と人との交流の機会が少ない。

【施設】

- ・今ある施設を有効に活用した方が良くと思う。土幌は作ったあとは、ほとんど管理せず、壊れるまで、使えなくなるまで使って、放置されている施設が多いように思える。リノベーションすることも大事だと思います。
- ・子ども達が自由に遊べる体育館があればと思います。
- ・隣町同士、施設を共有すること。

【広報、情報発信】

- ・「土幌」を発信する為のツール(特産品、イベントetc)が乏しいので、開発、発展、発信させることが必要だと思います。
- ・イベントや特産品などのPRをもっと行う。
- ・土幌町に住みたい、行きたい、と思われるような町づくりと発信。
- ・町民へのアンケートではなく今町でどの様な取り組みをしているか教えてほしい。

【役場、窓口】

- ・基本的な申請等は役場等へ出向かなくてもできるIT化を進めてほしい。
- ・納付の金融機関に、ゆうちょ銀行を加えてほしい。又、コンビニエンスストアでの納付も、申請制ではなく加えて頂きたい。
- ・役場などに行くと対応の悪い課があります。窓口に行っても知らない顔をされ、声をかけてやっと来る事も多いです。みんな活気がなく暗い気持ちになります。全てがそう言う訳ではありませんが、行きづらい課があるので、気持ちよく行けるようにして欲しいです。

【行財政運営】

- ・もっと広く町民の声を聞き、それに対して回答して欲しい。意見を聞く時は、個人名、常会名を記入するのはおかしい(今回はなかったので記入しました)。(50代男性)
- ・まちづくりが、透明性のある決定であることを示すべき。それにより、自分自身がかかっていることへの責任を持てる。自分の考えが反映できることが分かると若者でも積極的に関わって来てくれる。諦めの時代の今、一番大切なことと思います。(50代男性)
- ・町民のまちづくりへの意識を向上させる。…まちづくりは行政が行うものと認識している町民が多い。自分たちができることを考えてもらえるよう促せる講習やイベント「若者会議」などを開催し、町民同士が意見交換を行える場を増やす。(10代・20代女性)
- ・ふるさと納税に力を入れるべき。(40代女性)
- ・毎年もらえる緑風の入浴券、別の物も選べると嬉しい。(30代女性)
- ・町としての具体的な数値目標をもって町づくりをするべき。そして、目標の数を絞る。期限設定する。曖昧でだらだらした目標を上げない。ダメな目標例「住みよい町づくり」~何だか分からない。誰(どの部署)が、どんなタイムスケジュール、どんな費用(一定期間で点検)、責任を明確にして実行する。(40代男性)
- ・経済動向が不透明であり、町財政を考慮して維持を含め、限定した事業、制度に充当される事を望みません。(60代男性)

- ・「まちづくり」とひと言でいっても、とても難しい事だと思います。土幌町は恵まれていると私は思っています。無料サービスがすべて良いとは思いません。本当に困っている人には、きちんと対応していただけたらと思っています。(50代女性)
- ・田舎暮らしが憧れがあっても、受けられるサービスは都会に住んでいた頃と同じ水準であって欲しいと思う人は多いと思う。(50代女性)
- ・有名なコーディネーターを起用して、まちづくりを進めるなど、“外部”で“経験豊富”で“力のある”人材を予算をつけて取り組んだ方が良いと思います。町民だけでは、(今までの)今の土幌のイメージが強くて、こだわりが強くなってしまいう傾向があるので。歴史的な背景など、良い部分をもっと活かせる所はたくさんあるので、次のステップに進むために、思いきった1歩を踏み出してほしいです。(30代男性)

【アンケート】

- ・このアンケート調査は町職員が調査項目を作成したのですか。業者に委託して計画策定するのですか、その委託料予算は幾らかですか。人口減少の上からも町職員による手づくり総合計画を願いたい。(経費削減の上からも)以上3点について、町広報紙に掲載してください。(60代男性)
- ・このアンケートの性別欄に「その他」が良いので、何か増やすべき。(私の友人(町民ではない)が、「その他」があると精神的に救われる、と言っていた。)(10代・20代女性)